

I. 労働法の近代化

昨年のクリスマス直前にテメル大統領は「ロナウド・ノゲイラ労働・雇用大臣が22日、発表した労働法近代化法案は歴史的な瞬間、最大のクリスマス プレゼントだ」と称讃、この法案は今年4月の下院本会議で可決後、7月の上院承認を経て11月11日以降から施行に至った。

まだまだこれから先、法的安定性については懸念が残るが、約1か月弱を経た現在、一応その効果は靚面に表れ評価に値する。サンパウロ州、パライーバ州、ゴイアス州、エスピリット・サント州の地方労働裁判所の平均労働訴訟件数は、新労働法施行後の11月11日～12月6日まで施行以前の今年1月～11月の平均月間件数よりも70%減少している。

1943年に制定され、憲法で保障された硬直的で時代錯誤な統一労働法（CLT）が74年間もの間、企業経営を困難に陥れ、結果的には人材育成を拒み労働者に不利な雇用減に繋がり、且つ国際競争力を失い生産性が阻害されて来ていただけに、この歴史的な改革が経済的・社会的に及ぼす影響は非常に大きいものがある。

昨年、法案を発表した当時、ロナウド労働大臣は、「国会審議の対象となる変更点は、500万人分以上の雇用創出を刺激する上で、大きな潜在力を秘めている」と自信満々に力説した。1年を経た今、景気の底打ち感と相まって、200万人以上の雇用が創出され着実に其の効果は表れている。同大臣に対し、労をねぎらい感謝の気持ちを込めて今年の忘年会に招待した。史上最多250名の参加者を前に松永会頭から感謝状のプレートを贈呈した。

Excelentíssimo Senhor
Ronaldo Nogueira, Ministro do Trabalho

A Câmara de Comércio e Indústria Japonesa do Brasil agradece imensamente a Vossa Excelência pela participação no Jantar de Final de Ano e aguarda com grande expectativa o crescimento econômico do Brasil, com a expansão do emprego, através da modernização trabalhista de magnitude histórica.

ロナウド・ノゲイラ労働大臣 様

歴史的な労働法の近代化を通じ雇用を拡大、ブラジル経済の発展に期待するとともに、当会議所の忘年会にご出席頂きましたことへ心より御礼申し上げます。

14.12.2017

コラム

- ❖ 昨年（2016年10月）開催された日伯貿投委（東京）において、日本側からの現行労働法に関する幾つかの提案を受け、ブラジル側からは「テメル政権下でもう既に検討されている」と回答、「何を今更」と言わんばかりのニュアンスを含む微妙な発言があった。

会議所サイト ブラジル特集参照：

2011年に発足したジルマ第1次政権当時から本格的な労働法の改革を着手・検討。

2012/11/14（特別記事）ブラジルがドイツの労使契約モデルに注目

<http://jp.camaradojapao.org.br/brasil-business/oportunidades-de-negocios/?materia=10947>

会議所サイト ブラジル特集参照：

2016/12/22【労働省が労働法の現代化に関する提案を行う】

<http://jp.camaradojapao.org.br/brasil-business/oportunidades-de-negocios/?materia=16691>

2016/12/22【保険－雇用（PSE）プログラム－2016年12月付け暫定措置令第X号】

<http://jp.camaradojapao.org.br/brasil-business/oportunidades-de-negocios/?materia=16690>

- ❖ 2017年12月14日、ロナウド・ノゲイラ労働大臣を囲み15分程度の懇談会を行った。

<http://jp.camaradojapao.org.br/news/atividades-da-camara/?materia=17871>

ロナウド大臣が最も信頼を置き近代化法案を全面的に支持、下院においてリーダーシップを執った日系議員の高山ヒデカズ氏（忘年会参加に高山議員を指名）にも丁寧にお礼を述べ、富島相互啓発委員長から感謝状を贈呈した。

労働大臣に同行した功績者の一人、サンパウロ州労働局長官のエドワルド・アナスタゼ氏には別途、特別に厚くお礼を申し上げた。長い道程を要した労働法の近代化実現には全国州レベルの各長官が一丸となり、各業界のシンジケートとのしたたかな調整・交渉があったからに他ならない。

- ❖ ロナウド大臣招待に至るまでの経緯は以下、今年8月の日伯貿投委記事参照
<http://jp.camaradojapao.org.br/news/atividades-da-camara/?materia=17518>

要約:

事務局長) 現行の労働法 (CLT) が成立した 1943 年は、ガウショのジェトリオ・ヴァルガスが大統領の時だ。また昨年暮れ 12 月 22 日に、同じガウショのロナウド・ノゲイラ労働大臣が、クリスマス プレゼントとして発表した労働改革法案は、当カマラの提言項目を遥かに上回る改正に至っている。ブラジルの新たな労働環境変化の歴史の一章が始まる。ジャボネスガウショにとっては人生で最大の喜びとする所だ。ロナウド労働大臣をはじめ関係諸氏に厚くお礼を申し上げる。

共同議長) 今回の労働法改正はブラジルが正に必要としていた改革である。本日の会合でのフィードバックは労働大臣にも伝えたい。この改革を通してブラジルの生産性が向上していくことを願う。

II. 全員参加型の政策対話委員会WG活動

平成29年度の補助金枠が通年の2倍に増えて約2000万円の交付が6月28日に決まった。理由は日商からの派遣者が帰国した為に浮いた余剰枠の為である。しかし、交付金の倍増を手放しに喜べないジレンマがあった。補助事業制度が従来の経産省からJETROに移管された事で、交付の承認が通常より約2か月遅れた上、事業費の年度予算計上が1月末に短縮され、年末年始の一斉休暇やカーニバル連休を考慮すると、実質の事業活動期間は僅か6か月にしかないからだ。非常に使い勝手が悪い制度を理由に年初、複数のアプリカントから敬遠されていたが、その難しさの実情が身に染みて理解できた。今期限りを最後とするアプリカントの日商もこの制度に苦言を申し立てていた。

非常に厳しい事業活動を余儀なくされる中で、栗屋政策対話委員委員長以下全てのメンバーが結束、万難を排し自ら汗を流す全員参加型の活動が展開されたのが幸いであった。特に特筆すべき事は5つある各々のWG長がリーダーシップを執り積極的に各種セミナーを開催する他、事前にアンケート調査を行い、その結果を纏めて主要なメンバーと共に日伯貿投委の中間会合に臨み提言活動を行った事である。

一方、今回の労働法の改正に伴って、労働WGはFator弁護士事務所の佐藤ジルセウ弁護士とドグラス弁護士を講師に招き、先ず多岐に及ぶ変更条項の勉強会を開始、両弁護士の献身的な支援協力下で会員企業の人事担当者以外でも理解できる易しい解説書「ブックレット」を来年初めの出版を目指し、目下最終校正に入っている。

このような全員参加型の委員会・グループ活動が実践された事により、今後補助金頼みの活動に終止符を打ち、自立・自走体制が整ったことが最大の功績であり今年のトピックスと言える。関係者には心から厚くお礼を申し上げる。

III. 将来の検討課題 ～日メルコスルEPAに向けたアプローチ～

本題は可なり長期にわたる重要な課題のため、また来年以降も続編を綴って行く為に、当会議所の歴史の1章を綴るために記録として残す。

この、日メルコスルEPAは今年8月28日～29日、クリチバ市で開催された経団連/CNIによる日伯経済合同委員会における主要テーマであった。この合同委員会でボールは日本側にあるとのブラジル側からの積極的・アグレッシブな発言にショックを受けた。さらに1973年以降から経団連とパートナー関係にあるCNIが非常に高い関心を寄せ当所にも強いアプローチがあった事だ。

このアプローチを真摯に受け止め合同委員会から3週間を経た9月18日、CNIのEPA担当者を訪問した。当会議所にはその役割を担う担当の委員会(日伯経済交流促進委員会)がある事を伝え、別途あらためてしっかり協議したい旨申しあげた。

2003年当時、世界的な地域統合や日墨FTAに触発され日伯FTAに関する勉強会や共同研究がスタート、現地企業が不利益を蒙らないか経団連の主導下でアンケート調査を行った事がある。アンケート調査の結果は経団連の企画部会がまとめ、その結果を同年12月の官民合同会議に俎上した事があった。

本来ならこの様な当所へのアプローチは先ず以て、日本の国益を見据え日本企業を代表する経団連から直接来るべきところであるが、それが逆アプローチになっているのは甚だ残念だ。しかしながら現法の会員企業を纏める当会議所が対岸の火事とする訳には行かない。

CNIには猶予の期間を据え置いていただき、10月の常任理事会から本格的な議論を開始した。大方の結論としては思惑、半信半疑や様子見【下記】の雰囲気の中でCNI程の熱意は今の所見られない。
【日本政府の今の関心事は日伯では無くて日中であり、日ロであり総理官邸はハッキリその方向で動いている。今のテメル暫定政権下のブラジルに今、外務省はじめ経産省がどれだけ人を割いてくれるか甚だ疑問、可なり政治的に巻き込んで行かないといけない。時間を掛けてやってもフルーツが無いと云う事になり兼ねない】。

11月の常任理事会においても議論を継続した。僅か1か月後の今回は急転直下の様相変化に驚愕と戸惑いが漂う中で未だ半信半疑を払拭できないままの状態での議論が展開されたが経団連加盟企業本社の意向に沿う形で協力をして行きたいと云う前向きな結論であった。【下記】

【官邸の方では経産省を絡め日メルコスルの機運が急速に高まっている。TPP11が大筋合意、日-EUが年内最終合意の中で、日本にとって残されたメガEPAは特殊な北米を除き中南米なのだろうか？我々にとっては良い話ではあるが、實際上本当に数字の上で何処までメリットがあるのか見えない所もある？交渉には相当年月が掛る事も予想される。かなりの時間とマンパワーを掛けてやっても良いぐらいのメリットが出て来ると云う確信があれば別だが？良い話なので経団連加盟企業本社の意向に沿う形で協力をして行きたい】

12月の常任理事会ではJETROサンパウロ所長メモを中心に討議した。11月会議との違いは民間発のEPA要望書をどの様に作成して行くのか、雛形は無いのかとか、又どのタイミングで出状すれば最も効果的とか、経団連の企画部会長来所に備え本格的な具体性のある白熱した議論を行った。【❖】

以下にその要旨を纏めてみた。

- ❖ 端的に言えば、当地商工会からEPAを是非締結してほしい強い要望書が出ないと最初のキックオフが無いと動かない。この要望書をどのタイミングで本当に必要なのか、実際の数字を調べて行くには結構な力仕事でかなりの時間が掛る。根拠のある調査資料を付けて提出すべきなの今の所かわからない。
- ❖ 経団連として本邦側でアンケート調査をするとしていたが、今現在その調査を止めている様だ。環境認識としては、このような国同士の締結案件はすぐには終わらない。メルコスルと云う4か国で一番大きい盟主国のブラジルが来年に関しても、選挙の年だけにボールを投げてもらって受け取る状況下には無いと伝えた。ブラジルを説得出来なかったら亜国やその他の国々を説得しても意味が無い。

ブラジル側の政治動向も睨み乍ら2018年は準備期間と捉え、EPAで最もインパクトや影響を受けそうな化学品、機械金属分野などの委員長・部会長の方々にも参加頂き、現地の声を聞いた上で経団連としてのアクションプランを策定して行きたいと云うのが見解である。

- ❖ EPAと云うことになる対象が非常に多岐に亘るので相当、我々自身が勉強しないとその枠組みすら皆さんが十分に分かってない。分科会なりを構築してきちっと意見を統一するには、相当の時間と手間が掛ると思われる。
- ❖ EPA分科会を作って、そこで、例えば今、先に走っているEUメルコスルとかの研究をきちっとして、その上で関係者を呼んでこれが実施された時に日本企業がどれだけの不利益を蒙るのかと言う中で当会議所から要望書と云うのか、働きかけを行うのかどうかについては多少の疑問がある。
- ❖ これは、問題は誰が当事者なのか良く分らないと云うのが悩ましい。経団連は本気で取り組まれるのかどうか、この間の日伯経済合同委員会の時もあったが、当然当所が受け皿になるのがしかるべきだと云われ少し我々の認識とは違う。

- ❖ 産業障壁をクリアしている進出企業からするとワンボイスと云うのは難しいのではないかと。相当業種によっては立ち位置が変わってくるのではないかと。各委員会や業種別部会に落とし込んで吸い上げないとこれはかなりメリハリがあると思う。
- ❖ 推測に過ぎないが、最初に進出を果たし苦労して来た例えば自動車業界の皆様にとってはEPAが無い方が良いとか、色々見解の相違が出て来る事も予想される。関税障壁が無くなれば、今まで苦労して来てこれからどうなるのかとか、そんなに単純な話ではない。
- ❖ 実業はまだ良いが、ビザの問題とか、運転免許証がどうなるのかに及びビジネス環境とか知的財産とか幅広い分野に及び。日本側でも経団連だけではどうしようもないので、外務省、経産省、農林水産省も最初から巻き込まないとWin-Winの関係を謳えば、いつも日本側で引かかるのはコメの自由化は反対とか、いつも言い続けるのかと云う根本的な問題もある。
- ❖ 過去、2003年当時に試みた日伯FTA締結に向けては経団連が主導的に動き、本社絡みで当地の進出企業向けにアンケートを作成、その纏めもされたことがある。現地進出企業にとって不利益を蒙るかどうかの調査費も経団連が負担された記憶がある。また日本では色々な関係省庁や産・学界等々への窓口にもなって頂いた事もあった。

日伯社会保障協定も同じ事で経団連が中心となって日本貿易協会や在外企業協会を巻き込み、関係省庁を動かし国会に上程、協定締結に至った経緯がある。日本の国益が絡むようなEPA案件は民間側からの要請を受けた後には官側が交渉を行うのは当然と考える。

- ❖ 2003年当時は恐らく日本からBRICS諸国への強い投資ニーズがあった。今のブラジルあるいはメルコスルの状況下で、本当に日本企業がメルコスル市場に進出するタイミングなのか、ちょっと時期的には早いだろうと思われる。逆に言えば、亜国の景気が良くなりブラジルも景気が回復・好転、日本企業ももっと進出した方が良く云うことになって交流が深まりEPAの機運が高まる。

ブラジル側のラブコール次第によっては恐らく進出が増える可能性はあるが、新政府が樹立する前に、ただ今ブラジルを纏めるタイミングでは無いのではとも思われる。時間を掛けて熟成して行く事になるかと思う。しかしEUメルコスルFTAが発足して明らかに進出企業を含めて不利益を蒙ればもう少し加速する事になると思われる。当所としては下準備をする必要がある。

- ❖ 最後は当会議所に下りて来るのを覚悟の上、助走しておいた方が良い。EUメルコスルのFTAが雛形になるので研究の必要がある。

結論：

来年早々に経団連企画部会長が当所を訪問、状況を含めて詳しく説明されるので、それを踏まえて分科会を設置、先行するEUメルコスルFTAを研究し下準備して行きながら、方向性をしっかり固めて行きたい。

過去に行ってきた日伯FTA（EPA）活動経緯

<http://jp.camaradojapao.org.br/upload/files/171227%E6%97%A5%E4%BC%AF%E7%B5%8C%E7%B7%AF%E3%80%80FIESP%E3%80%80DEREX%E3%80%80%E5%B9%B4%E6%9C%88%E6%97%A5%E4%BC%9A%E5%90%88%E6%8F%90%E5%87%BA%E8%B3%87%E6%96%99%E3%83%BC%E6%97%A5%E6%9C%AC%E8%AA%9E%E7%89%88%E3%83%BC%E3%80%80%282%29.pdf>

IV. 会議所HPアクセス回数

会議所ホームページの累積アクセス数が今年700万回の壁を突破、12月現在のアクセス数が約710万回に達した。史上未曾有な7期連続の大不況化で前年度比のアクセス数が鈍化したとは言え喜ばしい事である。これを機に新たな工夫を凝らして1000万回への新たなチャレンジのスタートとしたい。

V. 2017 年度会議所活動トピックス

1. 政策対話活動

政策対話会合

第7回日伯戦略的経済パートナーシップ賢人会議 - 4月5日にリオで開催された第7回日伯賢人会議において、政策対話委員会委員長からAGIR活動の進捗状況や今後の方針を説明。ブラジルコストの改善に向けた AGIR 提言活動に対する進捗に大きな期待が寄せられ、最終提言書に AGIR 活動への支援を記載、翌日のテメル大統領への報告の際も、その重要さが伝えられた。

日伯貿易投資促進・産業協力合同委員会中間会合 - 4月7日、ブラジリアの開発商工サービス省庁舎で開催された日伯貿投委中間会合において、政策対話委員会委員長、インフラWG、課税WG、産業競争力強化WGから代表者から、AGIR活動の進捗と今後の活動計画、インフラ投資に対する為替リスク、課税・労働に関するビジネス環境の改善、ブラジル自動車裾野産業の競争力強化に向けた日伯協力活動を要請し、AGIR活動を通じて具体的な検討に取り組むことが両国間で合意された。

第20回日伯経済合同委員会 - 8月28日、29日の両日、クリチバで開催された日伯経済合同委員会において、政策対話委員会委員長が、課税・労働に関するAGIR本丸提言項目を説明、ブラジル産業界、特に CNI と一緒に、AGIR 活動を通じて、ブラジルのビジネス環境改善を要請し、日伯間の連携強化について、今後日伯官民による政策対話に向けた積極的な活動推進への期待が寄せられた。

第11回日伯貿易投資促進・産業協力合同委員会 - 8月30日、開発商工サービス省庁舎で開催された第11回日伯貿投委において、政策対話委員会委員長が課税・労働のAGIR本丸項目を提言、またブラジル政府が進めている課税改革や労働改革についての説明を受けると共に、カマラの活動を支援していくことが約束された。

その他の政策対話活動

財務省との政策対話会合 - 3月9日、政策対話委員会は、ブラジリアにある財務省を訪問し、課税・労働に関するAGIR本丸提言項目を説明し、税の簡素化、ICMS 税制の改善、移転価格税制のOECD 準拠についての改善要請を行なった。

課税ワーキンググループ、CNI国際課と課税担当スタッフとの政策対話 - 9月18日、6月に取りまとめたアンケート調査、その分析による提言内容、そして本丸提言3項目をCNIに説明するとともに、CNIが進めている移転価格税制、二重課税防止等において AGIR 提言内容との整合性の確認を行なった。

食品部会、EMBRAPA との連携体制の構築に関する第1回政策対話会合 - 12月4日、ブラジリアの EMBRAPA 本部にて、第1回ブラジル日本商工会議所と EMBRAPA との連携体制の構築に関する会合が開催された。

メディカル分科会、ANVISA との政策対話会合開催 - 12月8日、メディカル分科会は、2月にまとめたメディカル分科会 AGIR 提言5項目についての説明を行なうため、ANVISA のブラジリア本部を訪問し、政策対話会合を実施。ANVISA からは、各規制部門からの参加をいただき、AGIR 提言5項目につき、一つ一つ丁寧に回答が得られた。

ワーキンググループ主催の各種セミナー

インフラワーキンググループ、投資パートナーシップ・プログラム(PPI)説明会開催 - 3月6日、PPI 調整局長、物流システム開発公社(EPL)部長を招待し、PPI プログラム説明会を開催した。

産業競争力強化・中小企業育成ワーキンググループ、日本の協力によるブラジル自動車部品裾野産業育成セミナー開催 - 10月5日、ブラジル部品工業会(Sindipeças)、JETRO、JICA との共催で、開

発商工サービス省(MDIC)、ブラジル産業開発機関(ABDI)、全国産業職業訓練機関(SENAI)、と共に、ブラジル自動車部品裾野産業育成に向けたセミナーを開催した。

労働ワーキンググループ、ブラジル労働法改正セミナー - 日本企業の視点から開催 - 11月8日、同月11日から施行されるブラジル労働法改正が、今後どのように企業経営に影響するかにつき、ブラジル全国工業会(CNI)政策産業部門労働担当を招待、また電子電気工業会(ABINEE)代表、地方労働裁判官、カマラ会員企業代表者を交えたパネルディスカッション形式のセミナーを開催した。

労働ワーキンググループ、e-Social 制度セミナー開催 - 11月21日、2018 年 1 月 1 日から段階的に導入される e-Social についての説明会を開催した。e-Social を統括する労働省担当官と会員コンサル企業を招いて、システム導入に向けた企業の対応に関する説明会となった。

通関ワーキンググループ、Portal Único プログラムと OEA 制度についての説明会を開催 - 12月5日、Portal Único プログラムと OEA 制度に関し、開発商工サービス省、財務省・国税局、そして会員コンサル企業を招待して説明会を開催した。

課税ワーキンググループ、ICMS 税務クレジット認定についての説明会開催 - 12月11 日、課税ワーキンググループは、6 月に行なったアンケートをもとに、会員企業の多くが ICMS 税務クレジット累積の課題を抱え、クレジット認定の手続きや承認の遅れがキャッシュフローを圧迫する一つの原因であることを受け、サンパウロ州税務担当官を招待して、講演そしてパネルディスカッション方式のセミナーを開催した。

製本活動

労働法改正に伴い、労働ワーキンググループが「ブラジル労働法ブックレット」を作成開始 - 労働ワーキンググループは、ブックレット作成チームを設立し、進出日系企業が抱えているブラジルの労務問題に対し日本語による解説を行なうことで、ブラジルで経済活動を行う日系企業のビジネス環境改善を支援することを目指し、2月までの製本を目指している。

これまで、労働ワーキンググループは、硬直的なブラジル雇用制度に対し、ビジネス環境の変化に応じた雇用管理を可能とする関係法規の改正を提言してきていた。そして、ついに、労働改正法13467号が11月11日に施行されたことをうけ、今回成立した改正法を含めた、ブラジル労働法の概要をまとめたブックレットを作成することになっている。現地スタッフとの情報共有も考慮し、該当ブックレットのポルトガル語翻訳版も作成する。

2. シンポジウム、セミナー、昼食会

年2回開催される部会長シンポジウムはいずれも200人以上の参加があり大盛況、ブラジル経済の回復が印象付けられた。

また、今年も各委員会や部会等の主催により、労働法、税制、金融マーケット、現在注目されているIoT(モノのインターネット)を含むIT関連、年末話題になった改正移住法など、数多くのテーマを扱ったセミナーや講演会が行われた。

月例昼食会では講師としてパブロ・フェレリ ウルグアイ経済財務省事務次官やジョアン・カルロス・サアジ TV バンデイランテス社長、年末の忘年会では11月改正労働法が施行されたばかりのタイミングでロナウド・ノゲイラ労働大臣を特別参加させることができた。

3. 見学会、視察会など

食品部会主催のMNグループのプロポリス工場見学会、建設不動産部会のジャパンハウス見学会、環境委員会の植樹活動、運輸サービス部会のグアルーリョス空港視察会などのイベントが開催された。

4. 外部イベントへの参加

6 月にはジェットロ、商工会議所と共同でビジネス・投資環境調査を目的とした日本企業のミッションをパラグアイに派遣。約 20 社が参加のもと、工場、港湾インフラ、大型小売店舗等の視察が行われた。

7 月開催された「第 3 回日伯農業・食料対話」においては、当会議所とブラジル農牧研究公社 (EMBRAPA) との連携体制の構築について共同発表が為され、また、ブラジルに進出している日本企業に対して実施したアンケートに基づく「日本側からブラジル側への提案書」について説明が行われた。

5. 日系社会との連携

例年通り、あらゆる日系社会関連の活動に参加する中、ブラジル日本青年会議所 (JCI) 主催の活動を後援し、特に 10 月末のリベルダーヂ地区活性化・大掃除イベントには、会議所からも、多くの会員企業駐在員が家族連れで参加した。

VI. 付録

(2017 年 12 月 19 日)

2017 年度ブラジル日本商工会議所活動状況総括

ブラジル日本商工会議所
事務局

ブラジル日本商工会議所の活動の変化
会議所活動状況(2017年12月19日)

項 目	2014年	2015年	2016年	2017年
懇親昼食会、夕食会、忘年会、新年会	12	12	12	12
歓迎・送会(大使、総領事、常任理事他)	3	3	3	2
部会・分科会・WGの開催件数(部会・長シンポ、共催)	53	57	33	58
委員会の開催件数(異業種交流委員会)	16(2)	22 (4)	19 (2)	15(2)
同上(会議所外 GIE・CDM会合、FIESP等他の公的機関)	0	1	0	2
日系諸団体との会議(日系代表5団体ほか)	11	15	5	5
月例会の件数(法律、労働問題)	16	20	21	21
総会・臨時理事会	2	2	2	1
セミナー、イベントの開催件数(共催)	12	25	25	23
研修旅行(大・小旅行相互啓発主催)	0	0	0	0
工場・農場見学相互啓発主催(委員会)	0	0	0	0
同 上(部会主催)	2	1	0	2
他の団体との会議・シンポ・セミ・フォーラム(官民合同、経団連、FIESP訪日ミッション、全伯日系会議所、日伯議員連盟、他州ほか)	37	17	25	33
他団体主催のイベントへの参加	49	28	19	18
監事会、常任理事会の開催件数	16	16	16	14
表敬訪問件数 (FC含む訪問件数合計)	243	243	204	131
新聞社訪問件数(部会長懇談会案内他)	2	2	2	2
アンケート調査件数	11	9	7	6
各種調査依頼数(日本からの調査依頼)	70(70)	35	9	28(27)
会員からの提言件数	0	0	0	0
分科会・(準備)委員会・WGの設置件数	6	0	0	0
昼食会の知事、大臣レベルの出席回数	1	4	4	2
会議所ホームページ・累計ページビュー数	6474065	6703312	6924484	7097390
ブラジル経済情報の送付件数	211	197	215	205
事務局便りの送付件数(外部団体主催含む)	82	94	78	88

注釈) 件数は()内の共催数を含む。

2017 年 12 月 18 日まで日本語サイトページビュー5954 ポルトガル語 1798

2017 年度定例懇親昼食会の状況

月	参加者 (人)	2017 年度 講 演 者 名	2016 年度 講 演 者 名	2017 年度利用 ホテル名
1	200 人	中前 隆博 在サンパウロ日本 国総領事	関口ひとみ 在サンパウロ日本 国首席領事	ブルーツリー・モ ルンビーホテル
2	130 人	国際協力銀行リオデジャネイ ロ駐在員事務所の櫛引智雄首 席駐在員	XP Investimentos チーフエコ ノミストのゼイナ・ラティフ イ)氏	チボリホテル
3	160 人	国際公共政策研究センター (CIPPS) の田中 直毅理事長	アマバ州ヴァルデス・ゴメス州 知事	チボリホテル
4	150 人	パラナグア港コンテナターミ ナルの Juarez Moraes e Silva 取締役監督官	JSL 社のフェルナンド・アント ニオ・シモエス 社長	マクソウドホテル
5	150 人	Bandeirantes de Comunicação グループのジョアン・カルロ ス・サアジ社長	福嶋 教輝 在アルゼンチン日 本国大使館特命全権大使	インターコンチネ ンタルホテル
6	150 人	Embrapa 研究開発局の Ladislau Martin Neto エグゼ クティブディレクター	梅田邦夫 在ブラジル日本国 特命全権大使	ブッフェ・コロニ アル
7	140 人	ウルグアイ経済財務省の Pablo Ferreri 事務次官	FGV 大学経済学部ヴェラ・エ レナ・ソーステンセン教授	マクソウドホテル
8	120 人	SENAI サンパウロ州統括社会 工業サービス (SESI) の Walter Vicioni サンパウロ支部取締 役	アルゼンチン投資・通商庁の Rodolfo Gabriel Villalba 副 総裁	インターコンチネ ンタルホテル
9	120 人	パラ州経済開発公社のオラ ヴォ・ダス・ネヴェス総裁	ピアウイ州のジョゼ・ウエリン トン州知事	マクソウドホテル
10	130 人	安西 圭 Everis Spain 取締 役	セアラ州のカミーロ・サンタ ナ州知事	インターコンチネ ンタルホテル
11	130 人	Danilo Igliori サンパウロ大 学経済学教授	トカンチンス州のマルセロ・ミ ランダ州知事	チボリホテル
12	230 人	ロナルド・ノゲイラ労働相	佐藤悟大使	チボリホテル

会員の推移

Transição de Associados

2017 年度月次国籍別の会員推移表

-1

Ano:

2017

Mês 月	入退会 残	Origem 国籍						TOTAL 合計	OBS
		Japon 進出	Nikkeis 日系	Brasil ブラジ ル	Estran 外資	Total 計 Empresas	PF 個人		
1	Adesão	0	0	0	0	0	0	0	
	Desliga	4	0	1	1	6	0	0	
	Saldo	222	81	34	14	351	3	354	
2	Adesão	0	0	1	0	1	0	1	
	Desliga	3	2	0	0	5	0	5	
	Saldo	219	79	35	14	347	3	350	
3	Adesão	3	0	1	3	7	0	7	
	Desliga	3	0	0	0	3	0	3	
	Saldo	219	79	36	17	351	3	354	

4	Adesão	0	1	0	1	2	0	2	
	Desliga	2	2	0	0	4	0	4	
	Saldo	217	78	36	18	349	3	352	
5	Adesão	1	1	0	0	2	0	2	
	Desliga	0	0	0	0	0	0	0	
	Saldo	218	79	36	18	351	3	354	
6	Adesão	0	2	2	0	4	0	4	
	Desliga	1	0	1	0	2	0	2	
	Saldo	217	81	37	18	353	3	356	
7	Adesão	0	0	0	0	0	0	0	
	Desliga	0	1	1	1	3	0	3	
	Saldo	217	80	36	17	350	3	353	
8	Adesão	4	1	2	0	7	0	7	
	Desliga	1	2	0	0	3	0	3	
	Saldo	220	79	38	17	354	3	357	
9	Adesão	0	0	0	0	0	0	0	
	Desliga	0	0	1	0	1	0	1	
	Saldo	220	79	37	17	353	3	356	
10	Adesão	0	0	0	0	0	0	0	
	Desliga	0	1	0	0	1	2	3	
	Saldo	220	78	37	17	352	1	353	
11	Adesão	0	0	1	0	1	0	1	
	Desliga	2	1	0	0	3	0	3	
	Saldo	218	77	38	17	350	1	351	
12	Adesão	1	0	0	0	1	0	1	
	Desliga	2	0	0	0	2	0	2	
	Saldo	217	77	38	17	349	1	350	
入会	Adesão	9	5	7	4	25	0	25	
退会	Desliga	18	9	4	2	33	2	35	
残	Saldo	217	77	38	17	349	1	350	

Transição de Associados
2017 年度/国籍別の会員推移
表-2

ANO 年	入退会残	Origem 国籍							
		Japonesas 進出	Nikkeis 日系	Brasileiras ブラジル	Estrangeiras 外資	Sub 計	Soma 合計	PF 個人	TOTAL
2000	Adesão	1	6	3	1	10	11	3	14
	Desliga	3	2	0	0	2	5	0	5
	Saldo	156	83	34	17	134	290	3	293
2001	Adesão	2	3	2	0	5	7	11	18
	Desliga	3	7	4	0	11	14	0	14
	Saldo	155	79	32	17	128	283	14	297
2002	Adesão	2	4	1	0	5	7	0	7
	Desliga	7	2	6	1	9	16	0	16
	Saldo	150	81	27	16	124	274	14	288
2003	Adesão	7	7	9	2	18	25	3	28
	Desliga	14	2	4	1	7	21	2	23
	Saldo	143	86	32	17	135	278	15	293
2004	Adesão	5	10	8	2	20	25	3	28
	Desliga	7	3	6	1	10	17	5	22
	Saldo	141	93	34	18	145	286	13	299
2005	Adesão	11	5	7	4	16	27	4	31
	Desliga	8	9	5	4	18	26	4	30
	Saldo	144	89	36	18	143	287	13	300
2006 12 現在	Adesão	7	9	5	1	15	22	2	24
	Desliga	4	2	5	0	7	11	3	14
	Saldo	147	96	36	19	151	298	12	310
2007	Adesão	8	7	8	1	16	24	0	24
	Desliga	2	11	10	1	22	24	0	24
	Saldo	153	92	34	19	145	298	12	310
2008	Adesão	7	5	1	2	8	15	0	14
	Desliga	3	7	2	3	12	15	2	17
	Saldo	157	90	33	18	141	298	10	308
2009	Adesão	11	8	4	3	15	26	1	27
	Desliga	3	6	5	4	15	18	1	19
	Saldo	165	92	32	17	141	306	10	316
2010	Adesão	7	8	11	4	23	30	0	30
	Desliga	2	7	5	1	13	15	4	19
	Saldo	170	93	38	20	151	321	6	327
2011	Adesão	14	4	5	1	10	24	0	24
	Desliga	3	9	5	3	17	20	0	20
	Saldo	181	88	38	18	144	325	6	331
2012	Adesão	23	5	5	0	10	33	1	34
	Desliga	3	7	6	2	15	18	1	19
	Saldo	201	86	37	16	139	340	6	346
2013	Adesão	25	6	10	3	19	44	0	44
	Desliga	7	7	8	2	17	24	1	25
	Saldo	219	85	39	17	141	360	5	365
2014	Adesão	20	6	10	2	18	38	0	38
	Desliga	8	10	7	0	17	25	0	25

	Saldo	231	81	42	19	142	373	5	378
2015	Adesão	12	9	4	1	14	26	0	26
	Desliga	9	10	13	4	27	36	1	37
	Obs.	+3	-1	-9	-3	-13	-10	-1	-11
	Saldo	234	80	33	16	129	363	4	367
2016	Adesão	6	6	5	1	12	18	0	18
	Desliga	14	5	3	2	10	24	1	25
	Obs.	-8	+1	+2	-1	+2	-6	-1	-7
	Saldo	226	81	35	15	131	357	3	360
2017	Adesão	9	5	7	4	16	25	0	25
	Desliga	18	9	4	2	15	33	2	35
	Obs.	-9	-4	3	2	1	-8	-2	-10
	Saldo	217	77	38	17	132	349	1	350

業種別部会/国籍別毎の会員数 表-3

2017 年 12 月現在

Nº	Dep 部会 Dez-17	Japon 進出 217	Nikkeis 日系 77	Brasil ブラジル 38	Estrang 外資 17	Soma 計 349	PF 個人 1	TOTAL 350
1	Automotivo 自動 車	31	4	0	0	35	0	35
2	Comércio Exterior 貿易	26	3	1	1	31	0	31
3	Construção e Imobiliária 建設	5	5	1	0	11	0	11
4	Consultoria e Asses コンサル	5	25	27	7	64	1	65
5	Eletroeletrônico 電気電子	24	3	0	0	27	0	27
6	Fiação e Tecelagem 繊維	7	1	0	0	08	0	08
7	Financeiro 金融	11	5	4	2	22	0	22
8	Gêneros Alimentícios 食 品	13	5	1	0	19	0	19
9	Metal-Mecânica 機械金属	50	2	1	2	55	0	55
10	Produtos Químicos 化学	30	1	0	0	31	0	31
11	Transportes e Serviços 運輸	15	23	3	5	46	0	46

2017 年 1 月 活 動 報 告 書

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
01	正月				
02	集団休暇				
03	集団休暇				
04					
05					
06	日系 5 団体とサンパウロ総領事館主催の新年祝賀会/会議所からは、松永愛一郎会頭（ブラジル三菱商事）が代表で出席、また平田事務局長や会議所会員企業も出席				文協大講堂
07	土曜日				
08	日曜日				
09					
10					
11					
12	政策対話委員会（松永愛一郎委員長）打ち合わせ会合開催/AGIR 活動の今までの経緯や来年度補助金募集に関して意見交換/参加者は政策対話委員会から佐久間太郎氏（双日）、柳本 安紀氏（双日）、平田藤義事務局長、天谷浩之コーディネーター、吉田章則調査員				
13	政策対話委員会開催 /平成 29 年度補助金募集、AGIR 活動の今までの経緯や今後の活動計画についての意見交換/参加者は松永会頭（ブラジル三菱商事）、大久保敦ジェトロサンパウロ所長、栗屋聡委員長（ブラジル双日）、櫻井淳副委員長（ブラジル三菱商事）、芦刈宏司副委員長（ブラジル三井物産）、佐久間太郎副委員長、二宮康史副委員長、山本祐也委員（ジェトロサンパウロ）、大塚未涼委員（ブラジル三井物産）、柳本安紀委員（ブラジル双日）、平田事務局長、天谷浩之コーディネーター、吉田章則調査員				
14	土曜日				
15	日曜日				
16					
17	会計関連の内部規定変更で財務委員会並びに監事会から関係者が参加して意見交換会を開催/財務委員会から深井泰雄委員長（ブラジルみずほ銀行）並びに大淵彰規副委員長（丸紅ブラジル）、監事会から坂間カロリーナ議長（PwC）、会議所事務局から平田藤義事務局長、日下野成次総務担当が参加 金融部会（大谷隆明部会長）に 13 人が参加して開催/、2017 年金融部会活動方針の運営体制変更として、部会長に大谷隆明氏、副部会長に安田篤氏並びに林瑞穂氏を選出、今年上半期/下半期の金融部会発表として、マクロ経済概要並びに銀行業界動向、保険業界動向、副題に沿ったアンケート調査結果の発表、今年の勉強会並びにセミナーとしてテーマ“基礎ブラジル金融制度”、懇親昼食会への外部ゲストスピーカーの招聘、金融部会情報交換や懇親会の開催などについて意見交換				
18					
19	政策対話委員会（栗屋聡委員長、ブラジル双日）の産業競争力強化・中小企業育成 WG（タケウチパウログループ長、ホンダサウスアメ				

	リカ)に10人が参加して開催/1月27日に予定しているABDIとの自動車部品サプライヤー育成事業会合に向けた打ち合わせ会合を開催/参加者リスト/ デンソーブラジル石川公寛 /ホンダサウスアメリカ 竹内パウロ/ ホンダサウスアメリカ バルボサ・フェリペ / トヨタブラジル 広瀬大輔 /JICA ブラジル事務所 佐藤洋史 / ジェトロ・サンパウロ 山本祐也 / G-KT・ド・ブラジル 清永高史 / ブラジル日本商工会議所 平田藤義 / 天谷浩之 / 吉田章則 今年初めての日伯法律委員会月例会(蔵掛忠明委員長)開催/PwC 税務担当の GRAZIELA BATISTA シニアマネージャーは、『連邦州税局訓令 1681 号/2016 における多国籍企業の本社/支店間の税務関連情報公開』について、TozziniFreire Advogados の Guilherme Manier Carneiro Monteiro シニア弁護士は、『商品流通サービス税 (ICMS) に関する協定 ICMS 42 号について』、Gaia, Silva, Gaede & Associados の MAURÍCIO BARROS パートナーは、『最近の補足法 157 号/2016 における市税のサービス税 (ISS) 変更についてー税制戦争と新たな課税制度』、Mattos Filho (Mattos Filho, Veiga Filho, Marrey Jr. e Quiroga Advogados) の GABRIELA SILVA DE LEMOS パートナーは、『暫定法 766 号/2017 における税制再編プログラムについて』それぞれ講演	60 人			
20	新年会/特別ゲストとして中前 隆博 在サンパウロ日本国総領事/ブラジル日本商工会議所名誉顧問並びにアンジェラ・平田 ジャパン・ハウス事務局長によるジャパン・ハウスの紹介 政策対話委員会(栗屋聡委員長、ブラジル双日)のインフラ WG(那須隆一グループ長、JICA ブラジル事務所) 開催/PPI セミナーに向けた打ち合わせ会合を開催/参加者/ブラジルみずほ銀行 深井泰雄 /ブラジル三井住友銀行 甲斐中哲也 / ブラジル三菱東京 UFJ 銀行 青山健太郎 / 大和証券 (イタウ・ユニバンコ) 横路史生 / ケミカルグラウト (CGC) 藤井 健 /DELOITTE 池谷裕一 / JICA ブラジル事務所 那須隆一隆 / " " 佐藤洋史 /TOZZINIFREIRE 幕田潤 /T. Iwayama Cons. Emp. 岩山明郎 / ジェトロ・サンパウロ 禮田英一/商工会議所 平田藤義/天谷浩之/ 吉田章則	200 人			ブルーツリーモルンビーホテル
21	土曜日				
22	日曜日				
23	JICA 主催の日伯医療福祉セミナー開催/JICA 主催、サンパウロ日伯援護協会、サンタクルス病院、ブラジル日本商工会議所が後援、日伯の官民関係者約 80 人が参加して開催/会議所からは、メディカル分科会の鈴木政行部会長(テルモブラジル)、友納睦樹副部会長(富士フィルムブラジル)、的場俊英副部会長(シマズブラジル)、市川幸太郎副部会長(日本				サンパウロ日伯援護協会

	光電)、土屋功副部長(パラマウントベッド)、平田藤義事務局長はじめ多くの会員が参加				
24					
25	サンパウロ市設立記念日				
26					
27	ブラジル産業開発機関(ABDI アウグスト・フェレイラ総裁)一行と政策対話委員会産業競争力強化・中小企業育成WG(グループ長タケウチパウロ)との自動車部品サプライヤー育成事業会合/商工会議所では、今までブラジル自動車部品サプライヤーの競争力強化と育成事業に関して、ブラジル政府、特にMDICとの間で議論を重ねてきており、ブラジル政府もBrasil Mais Produtivo計画などを立ち上げ、中小企業育成事業を進めている。				
28	土曜日				
29	日曜日				
30	政策対話委員会(栗屋聡委員長)開催/参加者は栗屋聡委員長(ブラジル双日)、櫻井淳副委員長(ブラジル三菱商事)、佐久間太朗副委員長(ブラジル双日)、山本祐也委員(ジェトロサンパウロ)、大塚未涼委員(ブラジル三井物産)、柳本安紀委員(ブラジル双日)、平田事務局長、天谷浩之コーディネーター、吉田章則調査員 業種別部長シンポジウムの発表資料作成で運輸サービス部会(細谷浩司部会長)開催/参加者は細谷部会長(日通)、宮川副部会長(NYK LINE)、木村氏(NTT)、谷口氏(栄進)、石川氏(VF Lazer)、大胡氏(MOL)、金子氏(K-Line)、小宮氏(ツニブラ)、堤氏(ツニブラ)、川上氏(みずほ銀行)、藍原副領事(サンパウロ総領事館)、平田事務局長、天谷アドバイザー、吉田調査員、大角編集担当				
31					

2017年2月 活 動 報 告 書

日	内容(要約)	参加人数	講師	参加費	備考
01	食品部会(藤江太郎部会長)開催/2017年上期の業種別部会長シンポジウムの発表資料作成/参加者は藤江部会長(味の素)、降旗副部会長(三井アリメントス)、秋元副部会長(キッコーマン)、関氏(味の素)、小林氏(東麒麟)、高橋氏(ハラルド)、田中氏(ハラルド)、中島氏(JT International)、鎮守氏(JT International)、佐子氏(兼松)、佐藤氏(ナガセ)、前田氏(イグアスー)、根本氏(ヤクルト)、美馬氏(ヤクルト)、西岡氏(ゼンショー)、浅野氏(Nissin Foods)、西口氏(みずほ銀行)、寺道首席博領事(在クリチバ日本国総領事館)、光廣二等書記官(日本大使館)、藍原副領事(サンパウロ総領事館)、平田事務局長、天谷アドバイザー、吉田調査員、大角編集担当				
02	JETRO サンパウロ事務所主催によるブラジルインフラ入門&投資パートナーシッププログラムPPIセミナー/Fator 弁護士事務所のジルセル佐藤弁護士並びにダグラス・マイア弁護士が「ブラジル・インフラビジネス入門	50人			

	& P P I 概略」と題して講演 機械金属部会（池辺和博部会長）開催/2017年上期の業種別部会長シンポジウムの発表資料作成/参加者は池辺部会長（日立サウスアメリカ）、馬場副部会長（kobelco）、渡辺氏（カワサキ）、成塚氏（キョーセラ）、馬場氏（三菱重工）、牧野氏（CBC）、井川氏（AMADA）、岡本氏（Mineral Brasil）、河合氏（NTN Dariveshaft）、岡本氏（MMC）、WAKI 氏（NSK）、伊藤氏（SINTO）、小湊氏（KBK DO BRASIL）、永安氏（TMEIC）、北原氏（ヤンマー）、高橋氏（JFE SHOJI）、長谷川氏（ユシロ）、小野沢氏（荏原製作所）、蛭子領事（サンパウロ総領事館）、平田事務局長、天谷アドバイザー、吉田調査員、大角編集担当				
03	建設不動産部会（奥地正敏部会長）開催/2017年上期の業種別部会長シンポジウムの発表資料作成/参加者は奥地副部会長（戸田建設）、藤井部会長（CGC）、大滝氏（ホス建設）、森口氏（スターツ ブラジル）、上岡氏（戸田建設）、菅井氏（Nagawa do Brasil）、西村氏（YKK）、蛭子領事（サンパウロ総領事館）、平田藤義事務局長、天谷アドバイザー、吉田調査員、大角編集担当				
04	土曜日				
05	日曜日				
06	平田事務局長は JCI（ブラジル青年会議所）の新会頭就任式に出席 /Harumi Arashiro Goya ブラジル日本文化福祉協会並びに Jun Mabe 青年会議所会頭、ワルテル・イホシ下院議員、Helio Nishimoto サンパウロ州議員、関口ひとみ 在サンパウロ日本国首席領事、商工会議所平田藤義事務局長がそれぞれお祝いの言葉を述べ、最後にマルシア・ナカノ新会頭からの就任挨拶が行われた。				サンパウロ州議会
07	繊維部会（南村幸彦部会長）開催/2017年上期の業種別部会長シンポジウムの発表資料作成/参加者は南村部会長（東洋紡）、青山 副部会長（クラシキ）、豊田副部会長（ユニチカ）、浅川氏（日清紡）、横山氏（オオミ繊維）、平池氏（東レ）、近藤氏（YKK）、蛭子領事（サンパウロ総領事館）、平田事務局長、大角編集担当 2016 年第 4 四半期の業務・会計監査開催/監事会からカロリーナ・サカマ監事会議長（PwC）、森重秀一監事（デロイト）、ウーゴ・アマノ監事（BDO Brazil）、2016 年度監事会の二宮正人監事（二宮正人弁護士事務所）、横路 史生監事（大和証券）、財務委員会から深井 泰雄委員長（ブラジルみずほ銀行）並びに大淵 彰規副委員長（丸紅ブラジル）、また Orgatec - Organização Técnica Contábil 社からファーブオ・ヒダカ氏並びタケシ・ミツヤマ氏が参加して開催。/事務局からは平田藤義事務局長、日下野 成次総務担当、エレナ ウエダ会計担当が参加				
08	国際協力機構（JICA）の北岡伸一理事長、会議所理事および会員企業との懇談会開催/JICA からの出席者は、北岡 伸一 JICA 理事長、植嶋 卓巳 JICA 理事長室 室長、竹内 元 JICA 中南米部 部長、那須 隆一 JICA ブラジル事				

	務所所長。会議所からの出席者は、松永 愛一郎会頭、大久保 敦副会頭（ジェットロ・サンパウロ所長）、栗屋 聡専任理事、溝口 功自動車部会長、鈴木 政行メディカル分科会長、平田 藤義事務局長。 貿易部会のメディカル分科会（鈴木分科会長）開催/現在メディカル分科会でまとめている ANVISA 関連 並びに INMETRO 関連の提言書作成について意見交換を行った/参加者は、鈴木分科会長（テルモ）、的場 副分科会長（島津製作所）、市川 副分科会長（日本光電）、友納 副分科会長（富士フイルム）、土屋 副分科会長（パラマウント）、塩田氏（富士フイルム）、高柳氏（島津製作所）、平田事務局長、天谷アドバイザー、吉田調査員 在サンパウロ日本国総領事館主催の安全対策連絡評議会開催/ 電気電子部会（千野 浩毅 部会長）開催/2017 年上期の業種別部会長シンポジウム発表資料作成で意見交換/参加者は千野部会長（ソニー）、高田副部会長（NEC ラテンアメリカ）、磯村副部会長（エプソン パウリスタ）、君崎副部会長（ムラタ ワールド）、深井氏（みずほ銀行）、西口氏（みずほ銀行）、伊豆山氏（CIS Elettronica）、大沢氏（キャノン）、三井氏（エプソン パウリスタ）、蛭子領事（サンパウロ総領事館）、平田事務局長、大角編集担当	150 人			サンパウロ日伯援護協会 5 階 神内ホール
09	日 伯 法 律 委 員 会（蔵掛 忠明委員長）開催/EY 移転価格税制担当のカイオ・アルビーノ シニアマネージャーは『移転価格税制の直近の変更点』、Lautenschlager, Romeiro e Iwamizu Advogados (LRI) のリカルド・シトランジェロ弁護士は、サービス税とサービスの輸出について、Deloitte Touche Tohmatsu のブルーノ・ルイス・マエストリーニ税制担当マネージャーは ICMS（商品流通サービス税）納税オペレーションにおける税率算出の変更点について、Souto Correa Sociedade de Advogados のフェルナンド・アイレス パートナーは、補足法 156/2016 号一そのメリット、デメリットについてそれぞれ講演 コンサルタント部会（西口 阿弥部会長）開催/業種別部会長シンポジウムの発表資料作成/参加者は西口部会長（EY）、関根副部会長（個人会員）、今井副部会長（VMPP）、篠原副部会長（ISG）、山田氏（AUTHENT）、棧氏（BOXON）、山下氏（ヤコン）、山内氏（DA. MULTICOMUNICAÇÃO）、林氏（EY）、蛭子領事、平田事務局長、大角編集担当、吉田調査員	65 人			
10	JETRO サンパウロ事務所主催の第 2 回中南米知財セミナー開催/経済産業省製造産業局模倣品対策室の鷹野亨 模倣対策専門官（弁護士）は、「模倣品対策の現状及び模倣品対策室の取り組み」について講演	25 人			
11	土曜日 第 4 3 回カマラゴルフ大会開催/優勝は KANDA 様 (Sumitomo Corporation) が Lily 4 1 ・Pansy 3 9、HC 1 4、NET 6 6 のスコ				サンパウロ PL ゴルフクラブ

	アで獲得、2位には OBUCHI 様 (Marubeni Brasil)、3位には OTAKI 様 (Construtora Hoss)				
12	日曜日				
13	自動車部会 (溝口 功部会長) 開催/業種別部会長シンポジウムの発表資料作成/参加者は 溝口部会長 (ホンダサウスアメリカ)、Chang 副部会長 (ブラジルトヨタ)、加納副部会長 (デンソーブラジル)、小西氏 (AISIN AUTOMOTIVE)、佐藤氏 (出光)、清長氏 (G-KT)、夏目氏 (ホンダサウスアメリカ)、岡田氏 (ホンダサウスアメリカ)、清水氏 (ホンダサウスアメリカ)、奥山氏 (JX NIPPON OIL)、佐藤氏 (出光)、岩島氏 (Midori Auto Leather)、塚原氏 (NGK)、田中氏 (NGK)、下前原氏 (三菱コーポレーション)、谷口氏 (Nitto Denko)、渡部氏 (Nitto Denko)、高橋氏 (NS São Paulo)、寅田氏 (寅田)、伊藤氏 (シント・ド・ブラジル)、東氏 (ブラジルトヨタ)、米長氏 (ブラジルトヨタ)、深井氏 (みずほ銀行)、中村氏 (みずほ銀行)、蛭子領事 (サンパウロ総領事館) 平田事務局長、吉田調査員、大角編集担当				
14					
15	貿易部会 (今井 重利部会長) 開催/ 2017 年上期の業種別部会長シンポジウムの発表資料作成/参加者は今井部会長 (伊藤忠)、辻副部会長 (ジェトロ)、的場副部会長 (島津製作所)、奥川氏 (伊藤忠)、中村氏 (丸紅)、栗屋氏 (双日)、土屋氏 (三井物産)、佐久間氏 (双日)、小湊氏 (KBK ブラジル)、大野氏 (ダイソー)、平池氏 (東レ)、櫻井氏 (伯国三菱商事)、蛭子領事 (サンパウロ総領事館)、平田事務局長、吉田調査員、大角編集担当				
16	2017 年上期の業種別部会長シンポジウムの開催案内で邦字新聞社 2 社を訪問 /小池 淳介委員長、企画戦略委員会の久保敦委員長、平田藤義事務局長が邦字新聞社のサンパウロ新聞社並びにニッケイ新聞社を訪問 企業経営・地場企業推進委員会(ワグネル 鈴木委員長)の労働問題研究会開催/ Intelecto RH の DENISE MELLO 共営者はテーマ『身体障害者の採用について』 “O desafio na contratação de pessoas com deficiência”、Souto Correa Sociedade de Advogados の PAULO ROBERTO SOUTO 共営者はテーマ . 『労働法改正についての各争点』 “Os aspectos polêmicos da reforma trabalhista” についてそれぞれ講演	50 人			
17	2月の懇親昼食会/国際協力銀行 リオデジャネイロ駐在員事務所の櫛引智雄首席駐在員は、『日本の製造業企業の海外事業展開に関する調査報告 (2016 年度) 海外直接投資アンケート結果』について講演	130 人			チボリホテル
18	土曜日				
19	日曜日				
20					
21	日系主要 5 団体 (文協、県連、援協、アリアンサ、会議所) 代表者らによる会合/商工会議所から平田藤義事務局長が代理出席				

22					
23	総務委員会（小池 淳介委員長）並びに企画 戦略委員会（大久保 敦 委員長）共催の2017 年上期業種別部会長シンポジウム開催/ 金融部会 大谷 隆明 部会 長 貿易部会 今井 重利 部会 長 機械金属部会 池辺 和博 部会 長 自動車部会 溝口 イサオ 部会長 コンサルタント部会 関根 実 副部会 長 後半の司会 小池 淳介 総務委員長 化学品部会 鎌倉 勇人部会長 電気電子部会 千野 浩毅部会長 食品部会 秋元 壮介副部会長 運輸サービス部会 細谷 浩司部会 長 建設不動産部会 奥地 正敏部会長 繊維部会 南村 幸彦 部会長	200 人			インターコンチネ ンタルホテル
24	彦田南米課長一行と両国のインフラ分野など における投資環境整備についての意見交換会 /参加者は外務省中南米局南米課 彦田尚毅 課長、同築山淳志外務事務官、ブラジル大使 館の藤村和弘公使、西川洋祐書記官、在サン パウロ総領事館の蛭子英稔領事、会議所から 松永 愛一郎 会頭、土屋 信司 日伯経済委員 長（副会頭）、樹神 幸夫環境委員長（副会頭）、 栗屋 聡 政策対話委員長（専任理事）、佐久 間太郎 政策対話副委員長、池辺 和博 機械 金属部会長、高田 正純 電気電子副部会長、 水口直人氏 、平田 藤義事務局長				
25	土曜日				
26	日曜日				
27	振替休日				
28	カーニバル				

2017年3月 活 動 報 告 書

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
01					
02	政策対話委員会（栗屋聡委員長）開催/、平 成 29 年度補助金申請手続きに向けた打ち合 わせ、2017 年の具体的な活動方針や組織体 制の確認、大使館との協力体制、課税・労働 の本丸項目提言に向けた活動、また財務省国 際課との会合に向けた準備等、それぞれの役 割分担等について意見交換/参加者は栗屋聡 委員長（ブラジル双日）、櫻井淳副委員長（ブ ラジル三菱商事）、芦刈宏司副委員長（ブ ラジル三井物産）、佐久間太郎副委員長（ブ ラジル双日）、二宮康史副委員長（ジェットロサ ンパウロ）、大塚未涼委員（ブラジル三井物 産）、柳本安紀委員（ブラジル双日）、平田 藤義事務局長、天谷浩之アドバイザー、吉田 章則調査員、近藤千里秘書				

03					
04	土曜日				
05	日曜日				
06	政策対話委員会（栗屋聡委員長）インフラワーキンググループ（那須隆一グループ長）主催による投資パートナーシップ・プログラム（PPI）説明会/投資パートナー局のマルセロ・アライン調整局長は、「投資パートナーシップ・プログラム（PPI）」/物流システム開発公社（EPL）のジオジネス・アルバレス交渉部長が講演	70 人			インターコンチネンタルホテル
07					
08					
09	AGIR 第 5 回目日伯政策対話を開催 /日本側：日本大使館：星野芳隆公使、小林和昭参事官、伊藤哲郎参事官、ブラジル日本商工会議所：栗屋聡政策対話委員会委員長（双日ブラジル）、芦刈宏司〃副委員長（ブラジル三井物産）、櫻井淳〃副委員長（ブラジル三菱商事）、二宮康史〃副委員長（ジェトロサンパウロ）、柳本安紀〃委員（双日ブラジル）、平田藤義事務局長、吉田章則調査員/ブラジル側：MOF：エリバルド・ゴメス国際局次長（経済金融機関・国際協力担当）、ロナルド・メジナ連邦歳入局次長（税関・国際関係担当）、ジオゴ・コエリョ大臣官房国際担当補佐官 政策対話委員会（栗屋委員長）は新体制となって初めて在伯日本国大使館を訪問し、佐藤大使との会合開催				ブラジル財務省
10					
11	土曜日				
12	日曜日				
13					
14	ブラジル日本移民 110 周年記念祭典委員会（呉屋春美委員長）は会議所を訪問、菊池義治実行委員長が同祭典委員会の趣旨並びに活動、組織、企画やリッファ（自動車）による募金などについて検討していることを説明、商工会議所の松永愛一郎会頭は同祭典実行委員会の副委員長として、前回の移民 100 周年記念同様、側面的に協力することを約束した。また安田篤副会頭は実行委員会メンバーとして参加/会合参加者は文協会長のブラジル日本移民 110 周年記念祭典委員会の呉屋春美委員長、前援護協会会長の菊池義治実行委員長、文協のエドアルド・ナカジマ事務局長、商工会議所からは松永愛一郎会頭、安田篤副会頭、平田藤義事務局長、日下野成次総務担当				
15	建設不動産部会（奥地正敏部会長、ブラジル戸田建設社長）が 5 月初旬のオープン式を前にジャパン・ハウス（以下 JH）のお披露目見学会実施/会員 40 名に加え平田事務局長が参加/5 月初旬予定のオープン式を前に、もうカウントダウンが始まっている。30 名の職員を陣頭指揮するアンジェラ平田 JH 事務局長にとっては緊張の続く毎日だ。それでも参加者一行を笑顔で歓迎、冒頭「継続性のある JH にしたい」と力強く挨拶。ハウス館内をビデオで簡単に紹介した後、2 班に分かれブラジル戸田建設の藤井勇人氏等が 3 階、				

	2 階、1 階の順で案内。				
16	日本国特許庁並びに日本貿易振興機構サンパウロ事務所主催、ブラジル商工サービス省 (MDIC) 並びにブラジル産業財産庁 (INPI)、ブラジル全国工業連盟 (CNI)、ブラジル日本商工会議所後援による日伯間の知財協力に関するセミナー開催/ブラジル全国工業連盟 (CNI) の Carlos Eduardo Abijaodi 産業開発部長は、「ブラジルにおける製品開発と知的財産」/ホンダ・サウスアメリカ社の Marcos Bento 法務部長は、「ホンダのブラジル国内における製品開発及び知財活動」/日本国特許庁 (JP0) の三浦和幸 国際協力課長 は「PPH の概要」と題してそれぞれ講演/最後にブラジル産業財産庁 (INPI) の Luiz Otavio Pimentel 長官並びに日本国特許庁 (JP0) の 小宮義則長官は、特許審査ハイウェイ (Patent Prosecution Highway) の合意書に署名を行った。 日 伯 法 律 委 員 会 (藏掛 忠明委員長) の月例会/Pinheiro Neto Advogados 労働法担当の FELIPE CERRUTTI BALSIMELLI シニアパートナーが 『移転価格税制について - 再販売価格基準法 - 訓令 243/02 号の合法性』/KPMG 税法担当の JÚLIO ASSIS パートナーが、 『税金清算プログラム - 一般規定と論点について』、Trench, Rossi, Watanabe Advogados の BRUNO ALVES DUARTE シニアパートナーが 『インフラ事業コンセッションと民営化について』、escritório Machado Meyer (Machado Meyer Sendacz e Opice Advogados) の CELSO COSTA 共同パートナー及び CAMILA GALVÃO CEO が『PIS/COFINS のクレジットについて - 直近の動きと今後』についてそれぞれ講演	100 人 46 人			インターコンチネンタルホテル
17	第 67 回定期総会開催、松永愛一郎会頭は、2016 年度事業・収支決算報告で 2016 年はブラジルにとって歴史に残る一年であり、南米初のオリンピック開催でブラジルの底力とポテンシャルを世界へアピール、また一方で前大統領の弾劾、ラバジャット作戦など前代未聞の政治・モラルの大きな揺れも露呈されたと説明/深井泰雄財務委員長が 2016 年度収支決算報告/坂間カロリーナ監事会議長は 2016 年度監事意見書として、ブラジル日本商工会議所の 2016 年度 (2016 年 1 月 1 日より、同年 12 月 31 日まで) の事業報告書並びに貸借対照表、収支決算書、財産目録 (什器 (じゅうき) 及び造作) を監査したところ、適性であると認めたことを報告 3 月の懇親昼食会/国際公共政策研究センター (CIPPS) の田中 直毅 理事長が『ブラジル経済の動向を決めるもの ~ 時系列モデルによる予測 ~』と題して講演	160 人			チボリホテル
18					
19	土曜日				
20	日曜日				
21	政策対話委員会を開催 /4 月 7 日に行われる貿投委中間会合 (日伯貿易投資促進・産業協力合同委員会) での発表内容などについて討議/出席者は、佐久間副委員長 (双日ブラジ				

	ル)、櫻井副委員長(伯国三菱商事)、二宮副委員長(ジェトロサンパウロ)、山本委員(ジェトロサンパウロ)、大塚委員(三井物産)、柳本委員(双日ブラジル)、古本尋海課税ワーキンググループ長(NEC)、池谷裕一インフラワーキンググループメンバー(デロイト)、平田 会議所事務局長、天谷 政策対話委員会アドバイザー、吉田政策対話委員会調査員、近藤政策対話委員会アシスタント。				
22					
23	企業経営・地場企業推進委員会(鈴木ワグネル委員長)の労働問題研究会開催/Mattos Filho, Veiga Filho, Marrey Jr. e Quiroga Advogados の JOSÉ DANIEL GATTI VERGNA 弁護士は『労働法改革ー実務面と法制面の比較』について、Machado Meyer Sendacz e Opice Advogados の Andrea Giamondo Massei Rossi パートナー 及び Claudio Giovanni Pieroni パートナー、は『従業員利益配分金(PLR)ーその重要点』についてそれぞれ講演	48 人			
24	2016 年 10 月の統一地方選挙で当選したブラジル日系議員当選祝賀会/文化福祉協会の呉屋春美会長並びに関口ひとみサンパウロ日本国首席領事が祝辞を述べた。日系主要 5 団体(文協、県連、援協、アリアンサ、会議所)代表者ら多数が参加、商工会議所から平田藤義事務局長が出席				文協貴賓室
25	土曜日 環境委員会(樹神幸夫委員長)はサンパウロ州立チエテエコロジー公園にて「補植(植樹)ボランティア活動」を開催/	70 人			サンパウロ州立チエテエコロジー公園
26	日曜日				
27	政策対話委員会の課税および労働に関する AGIR 提言発表内容擦り合わせのため会合を開催/出席者は、古本尋海課税ワーキンググループ長、二宮康人政策対話委員会副委員長(ジェトロサンパウロ)、山本裕也政策対話委員会委員(ジェトロサンパウロ)、柳本安紀政策対話委員会委員、平田事務局長、吉田調査員、近藤アシスタント。				
28	日系主要 5 団体(文協、県連、援協、アリアンサ、会議所)代表者らによる会合開催/商工会議所から副会頭の安田篤日伯交流委員長が出席した。議題として日系議員当選祝賀会報告書並びにブラジル日本移民 110 周年記念祭典委員会活動、次回の通常会議開催などで意見交換				文協会議室
29					
30	政策対話委員会産業競争力・中小企業育成ワーキンググループの会合を開催/出席者は竹内パウロ産業競争力・中小企業育成 WG 長(ホンダサウスアメリカ)、フェリッペ・バルボーザ アナリスト(ホンダサウスアメリカ)、広瀬大輔ブラジルトヨタ調達部長、山本裕也政策対話委員会委員、柳本安紀政策対話委員会委員、平田事務局長、吉田調査員、近藤アシスタント。				
31	コンサルタント部会(西口 阿弥部会長)主催のテーマ『Desenvolve SPーサンパウロ州政府による企業への融資』説明会/Desenvolve SP ファイナンスの Alvaro Sedlacek ビジネスディレクターが講演	30 人			

2017 年 4 月 活 動 報 告 書

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
01	土曜日				
02	日曜日				
03					
04	樹神 幸夫副会頭の歓送会/参加者は安田篤副会頭、大久保 敦福会頭、栗屋聡専任理事、鈴木ワグネル専任理事、富島 寛専任理事、平田藤義事務局長				
05	第 7 回日伯戦略的経済パートナーシップ賢人会議が開催され、会議所から栗屋 聡政策対話委員長、土屋信司日伯経済委員長（会議所副会頭）が出席。				
06	政策対話委員会は、2017 年 4 月 6 日午後 4 時、テメル大統領訪日の際に締結されたインフラ協力に関する MOU にて約束された両国間でのインフラ作業部会に関して意見交換会/参加者は外務省中南米局南米課大岩課長補佐、ブラジル大使館の星野公使、西川書記官、会議所からは栗屋政策対話委員長、柳本 〃 委員、古本課税 WG グループ長、斉藤インフラ WG グループ長、池谷インフラ WG 委員、平田事務局長、吉田調査員 4 月の日伯法律委員会/Abe, Guimarães e Rocha Neto Advogados のダニエル・アフォンソ・フランジン パートナーは、『スタートアップにおける投資—キャピタルマーケット金融規制について』、EY 間接税担当のファービオ・フロレンチーノ取締役は、『社会統合基金/社会保険融資納付金（PIS/COFINS）の計算を基にした商品流通サービス税（ICMS）について』、BDO Brazil 税制担当のルービア・ファッシ部長並びにジュアン・エレラ税制担当責任者は、『デジタル会計帳簿（ECD）について』、TozziniFreire Advogados の法人犯罪担当のルドミラ・レイテ・グロッテ パートナーは、『企業ぐるみ不正並びに企業に与えるインパクトについて』それぞれ講演	57 人			在ブラジル日本大使館
07	日伯貿易投資促進・産業協力合同委員会（貿投委）の中間会合開催、経済産業省大臣官房の中川勉審議官と開発商工省生産開発局のマルガレッチ・マリア・ガンディニ自動車部門ダイレクターの両議長の下、二国間貿易投資促進（二国間対話のフォロー）、インフラ分野への投資促進、投資環境向上（AGIR 活動およびビジネス環境改善要請）、市場アクセス、産業協力をテーマに、両国の貿易投資促進に向けた活発な議論が行われた。/ブラジル日本商工会議所からは、栗屋聡政策対話委員長、池谷裕一インフラ WG メンバー、古本尋海課税 WG グループ長、広瀬大輔産業競				伯開発商工省会議室（ブラジリア）

	争力強化・中小企業支援 WG メンバーがプレゼンターとして出席し、AGIR 活動の概要と進捗報告、外貨導入によるインフラ整備の促進、ICMS 税等課税及び労働分野の改善要請、中古生産設備の輸入規制緩和や自動車部品企業の進出促進等裾野産業拡大に向けた要請をテーマにそれぞれ発表を行なった。また、ブラジル日本商工会議所からは、政策対話委員会の芦刈宏副委員長、二宮康史副委員長、斉藤顕生インフラ WG グループ長、平田藤義事務局長、その他が参加				
08	土曜日				
09	日曜日				
10					
11	パラグアイ商工省並びに在パラグアイ日本国大使館、ジェットロサンパウロ事務所、ブラジル日本商工会議所共催のパラグアイビジネスセミナー開催/グスタボ・レイテ商工大臣は、「新しいパラグアイービジネスチャンスから競争力へ」と題し、講演/上田善久在パラグアイ日本国特命全権大使は、「山椒は小粒でピリリと辛い 〜パラグアイの魅力〜」と題して講演	60 人			
12	企業経営・地場企業推進委員会(ワグネル 鈴木委員長)の労働問題研究会開催/『アウトソーシングと短期雇用契約を規定する法令 4302/1998—その論点』 “ Projeto de Lei 4.302/1998, que regula a Terceirização e modifica o contrato de temporários - Repercussões” Ferreira Rodrigues Sociedade de Advogados の WOLNEI TADEU FERREIRA 弁護士および WILIAM APARECIDO RODRIGUES 弁護士が講演、その後、『リスク管理とコントロールに関する防御三原則—コーポレートガバナンス』 “As três linhas de defesa para o gerenciamento de riscos e controles” と題して BDO Brazil 社の FERNANDO FURTADO リスク、ガバナンス&コンプライアンスマネジャーが講演				
13	政策対話委員会(栗屋聡委員長)の課税ワーキンググループと通関ワーキンググループを合同で開催し、本年度の新委員長就任による委員会新体制紹介とワーキンググループの新メンバーの顔合わせが行われた。また本年度の活動方針・計画の作成が主な議題であり、特に平成 29 年度中小企業海外市場開拓事業補助金(新興国市場開拓事業ロビイング活動支援事業)公募の開始にあたり今後のワーキンググループの活動について議論が行われた。出席者は、課税WG より古本尋海氏(課税WG グループ長、NEC)、篠原一宇氏(副WG 長、パイオニア)、吉田幸司氏(KPMG)、豊田周吾氏(ブラジル味の素)、浅川哲(ブラジル日清紡)、永井孝明(ブラジル日清紡)、加藤治永氏(ブラジル住友商事)、竹嶋仁志氏(ブラジル住友商事)、通関WG より石嶋勇氏(通関WG 長、ヤクルト商工)、成田正臣氏(日本通運)、小林浩行氏(伯国三菱商事)、吉田信吾氏(NYK)。また GLOBAL LINK CONSULTORIA のマリオ佐藤氏、FATOR ASSESSORIA E CONSULTORIA のジルセウ佐藤氏とダクラス・マイア氏も初めて参加し意見交換に参加。委員会より栗屋聡氏				

	(政策対話委員長、双日ブラジル)、二宮康史氏(副委員長、ジェトロサンパウロ)、大塚未涼氏(委員会メンバー、三井物産)、山本裕也氏(委員会メンバー、ジェトロサンパウロ)、柳本安紀氏(委員会メンバー、双日ブラジル)、平田藤義事務局長、吉田章則調査員、近藤千里アシスタント。				
14	パスコア				
15	土曜日				
16	日曜日				
17	政策対話委員会(栗屋聡委員長)の労働WG会合が開催され、委員会の新体制や新メンバーの顔合わせ、また本年度の活動方針や予定などについて討議が行われた。出席者は、松澤巧ワーキンググループ長(ブラジル味の素)、東崇徳副グループ長(ブラジル味の素)、上床憲司氏(ブラジル伊藤忠)、宇野怜輔氏(損保ジャパン)、西口阿弥氏(EY)、秋元壮介氏(キッコーマンブラジル)、森雄太氏(丸紅ブラジル)、米森俊介氏(双日ブラジル)。またFATOR ASSESSORIA E CONSULTORIAのジルセウ佐藤氏とダクラス・マイア氏も初めて参加し意見交換に参加。委員会より栗屋聡氏(政策対話委員長、双日ブラジル)、佐久間太郎氏(副委員長、双日ブラジル)、山本裕也氏(委員会メンバー、ジェトロサンパウロ)、柳本安紀氏(委員会メンバー、双日ブラジル)、平田藤義事務局長、吉田章則調査員、近藤千里アシスタント。				
18	全国産業職業訓練機関 SENAI(Serviço Nacional de Aprendizagem Industrial)にてインダストリー4.0についての意見交換/主にIoTなどについてブラジルが今後将来に向けてどのように準備していくか、また、日本企業がどのような貢献ができるかなどについて議論が行われた。/参加者はリカルド・フィゲレド・テラ技術担当取締役、オズワルド・レオス・マイア 最先端技術担当部長、クレシオス・ヴィニシウス・パチスタ補佐、会議所からは平田藤義事務局長および日下野成次総務担当、また、IoTに関するセミナー、プレゼンを会議所イベントにて既に数回行っている当所会員企業デロイトの技術・メディア・通信産業&分析リーダーで同社パートナーでもあるマルシア・オガワ氏および同社日本企業サービスグループマネジャーの池谷裕一氏が参加				
19	政策対話委員会(栗屋聡委員長)のインフラWG会合が開催され、委員会の新体制や新メンバーの顔合わせ、また本年度の活動方針や予定などについて討議が行われた。出席者は、斉藤顕生グループ長(JICA)、中島毅行副グループ長(ブラジル三菱重工)、青山健太郎氏(ブラジル三菱東京UFJ銀行)、横路史生氏(大和証券/イタウ・ユニバンコ)、櫛引智雄氏(国際協力銀行)、池谷裕一氏(デロイト)、佐藤洋史氏(JICA)、飯田俊太郎氏(ブラジル住友商事)。委員会より栗屋聡氏(政策対話委員長、双日ブラジル)、佐久間太郎氏(副委員長、双日ブラジル)、芦刈宏司氏(ブラジル三井物産)、山本裕也氏(委員会メンバー、ジェトロサンパウロ)、柳本安紀氏(委員会メンバー、双日ブラジ				

	ル)、平田藤義事務局長、吉田章則調査員、近藤千里アシスタント。				
20	政策対話委員会(栗屋聡委員長)の産業競争力強化/中小企業育成WGおよびメディカル分科会の会合が開催され、委員会の新体制や新メンバーの顔合わせ、また本年度の活動方針や予定などについて討議が行われた。出席者は、産業競争力強化・中小企業育成WGより小久保基裕氏(アイシン)、村松明氏(アイシン)、フェリッペ・バルボザ氏(ホンダサウスアメリカ)、斉藤顕生氏(JICA)、斉藤洋史氏(JICA)。メディカル分科会より、鈴木政行分科会長(テルモ)、高橋直己氏(パラマウントベッド)。また在サンパウロ総領事館から蛭子英稔領事がオブザーバーとして参加。政策対話委員会より、佐久間太郎氏(副委員長、双日ブラジル)、二宮康史氏(副委員長)、山本裕也氏(委員会メンバー、ジェトロサンパウロ)、柳本安紀氏(委員会メンバー、双日ブラジル)、平田藤義事務局長、吉田章則調査員、近藤千里アシスタントがそれぞれ出席。 4月の懇親昼食会/パラナグア港コンテナターミナルのJuarez Moraes e Silva取締役監督官は、「TCP-パラナグア港コンテナターミナル 国際貿易へのエクセレンス」と題して講演。	150 人			マクソウドホテル
21	チラデデンテス				
22	土曜日				
23	日曜日				
24					
25	ブラジル日本サンタクルス慈善協会は、サンタクルス病院設立78周年を記念して、昨年のポルトガル語版に続き、日本語版「サンタクルス病院の歴史」出版を記念した披露祝賀会開催。商工会議所から土屋信司副会頭(日伯経済交流促進委員長)、鈴木ワグネル専任理事(企業経営・地場企業推進委員長)、大谷隆明 前金融部会長、栗原裕二 金融部会長等に加え平田藤義事務局長が参加。				ブラジル日本移民資料館
26	横浜市の議員視察団(10名)とニッケイ新聞(会員)および神奈川文化援護協会が同一行を迎え、中前隆博総領事(当所名誉顧問)ほか日系主要団体の有志等と懇談会開催。視察団(敬称略順不同): 田野井一雄、せのま康浩、小松のりあき、いなみ俊之助、斉藤たつや、清水富雄、Katsuko Koshiishi ほか3名。				
27	ブラジリアンマインド(Brazilian Mind)講演会/安田篤商工会議所副会頭(日伯交流委員長)は昨年からブラジリアンマインドの企画について生前会議所役員らと会議を重ねてきており、この機会をもって日本とブラジルの懸け橋となる若者が数々生まれることを期待しているとスピーチで述べた。大野友香 Pinheiro Neto 弁護士事務所弁護士は日本人とブラジル人の人間の関わり方の違いや、日本進出企業へのガバナンスについてのサジェスチョン、ブラジル人の企業に対する期待や価値観などをレクチャーした。大野氏に続いて有村侑晃ヘンリーIkeen 広告会社代表は主に各種調査やアカデミックな研究	100 人			文協小講堂

	資料をもとに西洋人と東洋人の考え方や行動、人生観を比較、ダイナミックでユーモラス且つ参加型の講演となった。				
28	全国産業職業訓練機関 SENAI (Serviço Nacional de Aprendizagem Industrial) の招聘により、インダストリー4.0 に適応したプロフェッショナルを育成するサンパウロ州サン・カエターノ・ド・スール市の SENAI “Armando de Arruda Pereira” 校を訪問。会議所からは平田藤義事務局長、日下野成次総務担当、また、IoT に精通する当所会員企業デロイトの技術・メディア・通信産業&分析リーダーで同社パートナーでもあるマルシア・オガワ氏および同社日本企業サービスグループマネジャーの池谷裕一氏が参加し、オズヴァルド・ルイス・パドヴァン校長、ジョゼ・リカルド・ダ・シルヴァ技術コーディネーター、オズワルド・レオス・マイア SENAI 最先端技術担当部長、クレシオス・ヴィニシウス・バチスタ SENAI 補佐らが新築校舎の案内をした。				
29	土曜日				
30	日曜日				

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
01	メーデー				
02					
03					
04	ブラジル日本商工会議所並びに明治大学との連携・協力に関する覚書署名式/意見交換会では、商工会議所運輸サービス部会の細谷浩司部会長はじめ紫紺会のOB8人も参加、覚書署名式に至る経緯、ブラジルの学生との交換留学、日伯の架け橋になる人材育成、ジャパンハウスに対する連携支援、明治大学OBの支援点協力体制の構築、事務局設置、インターシップ制度の活用、文化交流の活性化などについて、ざっくばらんに意見交換。松永会頭は、訪伯できなかった土屋恵一郎学長がサイン済みのブラジル日本商工会議所・明治大学との連携・協力に関する覚書にサイン。出席者/明治大学。小林正美 副学長（理工学部教授）、中林真理子 学長室専門員（商学部教授）、二宮正人 学長特任補佐、六浦吾朗 学長特任補佐、ブラジル日本商工会議所から松永愛一郎 会頭、安田篤 副会頭（日伯交流委員長）、平田藤義 事務局長、明治大学OB・OGから細谷浩司 日本通運（運輸サービス部会長）、長谷川靖 ホス建設、根岸誠 アズビル、松本雄一 JEOL BRASIL。浅羽秀樹 横浜ゴム、大野恵介 ダイソー、中田賢 日立、成塚久徳 京セラ。				
05					
06	土曜日				
07	日曜日				
08					
09	2017年第1四半期の業務・会計監査/監事会からカロリーナ・サカマ監事会議長（PwC）、森重秀一監事（デロイト）、ウーゴ・アマノ監事（BDO Brazil）、財務委員会から深井 泰雄委員長（ブラジルみずほ銀行）並びに廣瀬量哉副委員長（ブラジルみずほ銀行）/事務局からは平田 藤義事務局長、日下野 成次総務担当、エレナ・ウエダ会計担当、アレシヤンドレ・クバ会計担当補佐が参加				
10	日本貿易振興機構（JETRO）サンパウロ事務所（大久保敦所長）主催の第3回中南米知財セミナー/岡本正紀部長は最近のブラジルの知財/、「真贋判定セミナーについて」/二宮正人法律事務所のレアンドロ・モレイラ弁護士は、流暢な日本語で「ブラジル商標制度について」と題して講演	20 人			
11					
12	5月の日伯法律委員会（藏掛 忠明委員長）/Gaia Silva Gaede Advogadosのサンドラ・ロドリゲス・メデイロス取締役は、『"ICMS na base de cálculo do PIS/Cofins: Recente decisão do STF e o impacto da modulação dos efeitos" 社会統合基金/社会保険融資納付金（PIS/COFINS）における商品流通サービス税（ICMS）の計算方法について』、Souto Correa Advogadosのアントニオ・カルロス・トヴォ パートナーは、『"Contratando a prevenção da corrupção: riscos penais em face de certas tendências contemporâneas" 契約時の刑法につながる汚職リスク予防に	55 人			

	について』、Mattos Filho (Mattos Filho, Veiga Filho, Marrey Jr. e Quiroga Advogados のアルマンド・ベリーニ・スカルペリ弁護士は、『“ISS - Exportação de Serviços” サービス税 (ISS) とサービス輸出について』、最後に PwC のクラウド・ユキオ・ヤノ税制担当取締役は、『“IN RFB nº 1.700, de 14 de março de 2017” 2017 年 3 月 14 日発効の国税庁細則 1700 号について』それぞれ講演 F I N E P 総裁と投資家の為替リスク回避策について意見交換/デロイト・サンパウロの池谷氏や同社の M a r c i a 氏 (昨年 11 月昼食会の I o t /インダストリー 4.0 講師) と共に M a r c o s C i n t r a F I N E P (※) 総裁を訪問				
13	土曜日 機械・工具・産業オートメーション 国際見本市/国内外から 630 の有名ブランド、400 社が工作機械、工具、自動化機器・装置、ロボット、精密鍛造、油圧・空気圧制御機器、3D プリンター等々が展示され、ブラジルの技術水準が分る 2 年に 1 回開かれる国際見本市。/ S E N A I サンカエターノが出展/平田事務局長は 13 日、同見本市を見学、オズワルド・レオス・マイア SENAI 最先端技術担当部長、ジョゼ・リカルド・ダ・シルバ 同テクニカルコーディネーターから S E N A I サンカエターノ自信作ミニモデルラインの説明を受けた。				イミグランテ見本市会場
14	日曜日				
15					
16	政策対話委員会 (栗屋聡委員長) 労働ワーキンググループ (松澤功グループ長) の労働法改正勉強会/講師は FATOR ASSESSORIA E CONSULTORIA のジルセウ佐藤氏とダクラス・マイア氏が務めた。	21 人			
17					
18	企業経営・地場企業推進委員会 (ワグネル 鈴木委員長) の労働問題研究会/PwC 労働法・社会保障担当の Marcel Cordeiro パートナーが「労働法改革及び eSocial インパクト」、ま Motta Fernandes Advogados の Denise de Sousa シニアパートナー、同労働法担当の Silva Alvarenga 弁護士が「アウトソーシング及び労働法改革」についてそれぞれ講演 インフラ WG の会合を開催/参加者は、斉藤顕生グループ長 (J I C A ブラジル)、深井泰雄メンバー (ブラジルみずほ銀行)、山本健介メンバー (ブラジルみずほ銀行)、青山健太郎メンバー (ブラジル三菱東京 U F J 銀行)、櫛引智雄メンバー (国際協力銀行/J B I C)、高野哲史メンバー (戸田建設)、吉田幸司メンバー (K P M G)、飯田俊太郎メンバー (ブラジル住友商事)。オブザーバーとして、小林和昭在伯大使館参事官、藍原健在サンパウロ総領事館副領事。政策対話委員会から、栗屋聡委員長 (双日ブラジル)、佐久間太郎副委員長 (双日ブラジル)、山本裕也委員 (ジェットロサンパウロ)、柳本安紀委員 (双日ブラジル)。事務局から、平田藤	55 人			

	義事務局長、吉田章則調査員、近藤千里アシスタント				
19	5月の懇親昼食会/Bandeirantes de Comunicação グループの João Carlos Saad 社長の João Carlos Saad 社長は、講演テーマ『日伯交流に果たすマスメディアの役割』について講演。	150 人			インターコンチネンタルホテル
20	土曜日 品部会（藤江太郎部会長）主催による MN グループ社工場見学会/2 グループに分かれ CETAL 食品分析センター、プロポリス工場、焼酎工場を見学。	40 人			MN グループ社工場
21	日曜日				
22					
23					
24	食品部会は第3回日伯農業・食料対話セミナーについて会合/現状・課題把握に係わる調査協力、特にブラジルにおける穀物輸送インフラ並びにブラジルの農産物輸出に関するビジネス環境、ブラジル農牧研究公社（EMBRAPA）との産学交流促進や EMBRAPA の業務内容紹介の機会設定、最近の日伯政府間の農業・食料関係動向、第2回日伯農業・食料対話セミナー報告及び今後の部会活動や執行部変更、第3回日伯農業・食料対話セミナーに向けてのスケジュール調整などについて意見交換。食品部会から藤江部会長（味の素）、降旗副部会長（三井アリメントス）、関氏（味の素）、中央開発（株）の山口氏、谷村氏、在ブラジル大使館経済班農業・食品担当の光廣二等書記官、サンパウロ総領事館から藍原副領事、商工会議所から平田事務局長、吉田調査員、近藤秘書、大角編集担当が参加				
25					
26					
27	土曜日				
28	日曜日				
29					
30					
31					

2017年6月 活 動 報 告 書

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
01	総務委員会（小池淳介委員長）に属する安全対策チームは「安全対策セミナー」について打ち合わせを行った。出席者はセミナー当日の講師となる在サンパウロ日本国総領事館の堀井孝史領事、また邦人保護班の大湊弘治領事、会議所からは、安全対策チームの河崎宏一リーダー、竹森良平セミナー担当、吉田茂則サイト担当、志津田周成総務委員会メンバー、日下野成次総務担当。				在サンパウロ総領事館会議室
02	日本経団連と全国工業連盟（CNI）は2017年8月28日、29日の両日、パラナ州クリチーバ市パラナ州工業連盟本部において開催予定の第20回日伯経済合同委員会（飯島彰				

	己・日本ブラジル経済委員長)の準備会合を大前孝雄・経団連日本ブラジル経済委員会企画部会長など10人が参加して開催/参加者は大前孝雄・経団連日本ブラジル経済委員会企画部会長、三井物産経営企画部海外室の木下泰巨次長、栗屋政策対話委員長(双日ブラジル)、芦刈政策対話副委員長(ブラジル三井物産)、大塚委員(ブラジル三井物産)、池谷委員(デロイト)、事務局から平田事務局長、吉田調査員、近藤アシスタント、大角編集担当				
03	土曜日				
04	日曜日				
05					
06					
07	政策対話委員会(栗屋聡委員長)労働WGは、今年2回目の労働法改正勉強会に19人が参加して開催/講師はFATOR ASSESSORIA E CONSULTORIAのジルセウ佐藤氏とダクラス・マイア氏/出席者は、松澤巧ワーキンググループ長(ブラジル味の素)、東崇徳副グループ長(トヨタブラジル)、浜本香織氏(トヨタブラジル)、高橋良明氏(ホンダ・サウスアメリカ)、山崎一郎氏(味の素)、上床憲司氏(ブラジル伊藤忠)、宇野怜輔氏(損保ジャパン)、秋元壮介氏(キッコーマンブラジル)、森雄太氏(丸紅ブラジル)、米森俊介氏(双日ブラジル)、佐藤智哉氏(ブラジル住友商事)、ジルセウ佐藤氏(FATOR ASSESSORIA E CONSULTORIA)、ダクラス・マイア氏(FATOR ASSESSORIA E CONSULTORIA)、柳本安紀氏(双日ブラジル)、加藤周平氏(南米新日鐵)、平田藤義事務局長、吉田章則調査員、近藤千里アシスタント、大角総丙編集担当。				
08					
09	日伯法律委員会(蔵掛 忠明委員長)開催/Motta Fernandes 税制担当のRUBENS CARLOS DE PROENÇA FILHO パートナーは『補足法156号/2016に於けるサービス税(ISS)変更について』、Abe Advogados (Abe, Guimarães e Rocha Neto Advogados)のROGÉRIO CÉSAR MARQUES 弁護士は、『グループ企業間の資金貸借-移転価格税制並びに過少資本税制について』、Licks AdvogadosのEDUARDO HALLAK パートナーは、技術移転契約及びブラジル産業財産庁(INPI)について』、Pinheiro Neto AdvogadosのLEONARDO BATTILANA シニアパートナーは、『電力エネルギーに関する商品流通サービス税(ICMS)の議論テーマについて』それぞれ講演 政策対話委員会(栗屋聡委員長)課税WG会議開催/出席者は、古本尋海ワーキンググループ長(NECラテンアメリカ)、篠原一宇副グループ長(パイオニアブラジル)、浅川哲氏(ブラジル日清紡)、永井孝明氏(ブラジル日清紡)、大淵彰規氏(丸紅ブラジル)、加藤治永氏(ブラジル住友商事)、竹島仁志氏(ブラジル住友商事)、二宮康史政策対話委員会副委員長氏(ジェトロサンパウロ)、柳本安紀政策対話委員会委員(双日ブラジル)、平田藤義事務局長、吉田章則調査員、	52人			

	近藤千里アシスタント。				
10	土曜日				
11	日曜日				
12	政策対話委員会（栗屋聡委員長）インフラ WG は、FVG 大学のクラウジオ・フルタド教授をお招きして、インフラ投資における為替リスクに対する新しい為替保険モデルに関する勉強会を開催/出席者は、斉藤顕生ワーキンググループ長（JICA ブラジル事務所）、山本健介氏（ブラジルみずほ銀行）、星野聡氏（ブラジル三井住友銀行）、高野哲史氏（戸田建設）、池谷裕一氏（デロイト）、ルイス氏（デロイト）、福井盛一氏（伯国三菱商事）、飯田俊太郎氏（ブラジル住友商事） 政策対話委員会：栗屋聡委員長（双日ブラジル）、佐久間太郎副委員長（双日ブラジル）、二宮康史副委員長（ジェトロサンパウロ）、柳本安紀委員（双日ブラジル）、山本祐也委員（ジェトロサンパウロ） オブザーバー：藍原健在サンパウロ総領事館副領事、宮崎直美在サンパウロ総領事館経済班担当、チアゴ・モレイラ氏（FINEP）、ヘナト・ソウザ氏（FINEP）。 事務局：平田藤義事務局長、吉田章則調査員、近藤千里アシスタント。 8 月 28 日並びに 29 日にパラナ州クリチーバ市で開催予定の第 20 回日本ブラジル経済合同委員会（飯島彰己・日本ブラジル経済委員長）に向けたブラジル全国工業連合（CNI）と政策対話委員会との事前意見交換会開催/参加者は CNI コマーシャル政策担当の constanza negri マネージャー、CNI 企業交渉担当 SILVIA MENICUCCI スペシャリスト、政策対話委員会の栗屋聡委員長（双日）、佐久間太郎氏（双日）、芦刈宏司氏（ブラジル三井物産）、二宮康史氏（ジェトロ）、山本裕也（ジェトロ）、大塚未涼氏（ブラジル三井物産）、柳本安紀氏（双日）、古本尋海氏（NEC ラテンアメリカ）、篠原一宇氏（ブラジルパイオニア）、松澤巧氏（ブラジル味の素）、東崇徳氏（ブラジルトヨタ自動車）、斉藤顕生氏（JICA ブラジル）、池谷裕一氏（デロイト）、石嶋勇氏（ヤクルト商工）、降旗英樹氏（三井アリメントス）、平田藤義事務局長、吉田章則調査員、近藤千里アシスタント、大角総丙編集担当				
13	政策対話委員会（栗屋聡委員長）産業競争力強化・中小企業支援 WG は、ABDI との技術協力合意書や 2017 年の WG 活動計画について、13 人が参加して開催/出席者は、フェリペ・バルボサ氏（ホンダサウスアメリカ）、石川公寛氏（デンソーブラジル）、奥野直樹氏（デンソーブラジル）、篠田健氏（トヨタブラジル）、佐藤洋史氏（JICA ブラジル）、飯山聖基氏（JICA ブラジル） 政策対話委員会：二宮康史副委員長（ジェトロサンパウロ）、佐久間太郎副委員長（双日ブラジル）、山本祐也委員（ジェトロサンパウロ）、柳本安紀委員（双日ブラジル） 事務局：平田藤義事務局長、吉田章則調査員、近藤千里アシスタント。				

14	日伯法律委員会（蔵掛忠明委員長）並びに コンサルタント部会（西口阿弥部会長）共催 による 2017 年上期税制変更に関するセミナー開催/会員企業の Deloitte Touche Tohmatsu; EY; KPMG; Machado Meyer; Mattos Filho; Pinheiro Neto Advogados; PwC e Souto Correa Advogados の弁護士がそれぞれ講演を行った。	110 人			マクソウドホテル
15	CORPUS CHRISTI				
16	振替休日				
17	土曜日				
18	日曜日 移民 109 周年/開拓先亡者追悼法 要では中前隆博在サンパウロ総領事（当所顧 問）をはじめ各日系諸団体の代表者等が哀悼 と感謝の辞を述べ、会議所からは安田篤副会 頭（日伯交流委員長）が参列、サンゴンサー ロ教会のミサでは呉屋文協会長、関口ひとみ 首席領事、与儀昭雄サンパウロ援護協会会 長、山田県連会長、平田藤義事務局長等が 順々に共同祈願した。				
19					
20					
21	政策対話委員会（栗屋聡委員長）労働WGは、 今年 3 回目の労働法改正案勉強会に 17 人が 参加して開催/出席者は、松澤巧ワーキング グループ長（ブラジル味の素）、栗屋聡政策 対話委員長（双日）、佐久間太朗氏（双日）、 浜本香織氏（トヨタブラジル）、高橋良明氏 （ホンダ・サウスアメリカ）、森雄太氏（丸 紅ブラジル）、米森俊介氏（双日ブラジル）、 佐藤智哉氏（ブラジル住友商事）、ジルセウ 佐藤氏（FATOR ASSESSORIA E CONSULTORIA）、 ダクラス・マイア氏（FATOR ASSESSORIA E CONSULTORIA）、柳本安紀氏（双日ブラジル）、 加藤周平氏（南米新日鐵）、蛭子英稔領事（サ ンパウロ総領事館）、平田藤義事務局長、吉 田章則調査員、近藤千里アシスタント、大角 総丙編集担当。				
22	企業経営・地場企業推進委員会（ワグネル 鈴 木委員長）の労働問題研究会開催/ KPMG の Ana Rennar シニアマネージャーが海外勤務 に於ける主要税制注意点について、Fator Assessoria e Consultoria の Douglas Leonardo Costa Maia 弁護士は労働改革法案 の変更についてそれぞれ講演	40 人			
23	6 月の懇親昼食会/ Embrapa 研究開発局の Ladislau Martin Neto エグゼクティブディ レクターが講演/	150 人			ブッフエ・コロニアル
24	土曜日 JCI Brasil-Japão（ブラジル日本青 年会議所）が 35 周年式典開催/関口ひとみ在 サンパウロ日本国総領事館首席領事が開催 挨拶/平田事務局長は感慨深く乾杯の音頭を 執った。				
25	日曜日				
26					
27					
28					
29					
30	栗屋聡専任理事が中前隆博総領事送別会に 参加/栗屋聡専任理事は、日系主要五団体よ りの感謝状を商工会議所名誉顧問の中前隆				ブラジル日本文化 福祉協会貴賓室

	博総領事に贈呈。 異業種交流委員会の井上 秀司委員長並びに伊藤 卓哉副委員長が平田藤義事務局長, 日下野成次総務担当と今年の委員会活動について意見交換				
--	--	--	--	--	--

2017年7月 活 動 報 告 書

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
01	土曜日				
02	日曜日				
03					
04	日伯法律委員会（蔵掛忠明委員長）並びにコンサルタント部会（西口阿弥部会長）共催による初めての日本語による2017年上期税制変更セミナー開催/EY社の林 裕孝 シニアマネージャーは、テーマ BEPS（税源浸食と利益移転）とは何か、在伯企業に与える実務影響について、/DELOITTE TOUCHE TOHMATSUの池谷 裕一 シニアマネージャーは、ビジネス税務の主要ポイントについて、/KPMG日系企業総合窓口、GJP南米地域統括責任者の吉田 幸司 駐在パートナーは、“eSocial”について/FATOR ASSESSORIA E CONSULTORIAのダグラス・マイア弁護士がポルトガル語で説明後に佐藤ジルセウ弁護士が日本語に翻訳、課税対象：消費から所得へと題して/PWCの矢萩信行 ディレクターは、送金時に関する税務事項について、それぞれ講演。	80 人			マクソウドホテル
05					
06	金融部会 部会（栗原 裕二部会長）は、ブラジル三井住友銀行の井上和雄氏を講師に「ブラジル金融マーケットの歴史と仕組み」と題して講演	40 人			
07	「第3回日伯農業・食料対話」開催 /ブライロ・マッジ農務大臣並びに細田健一農林水産大臣政務官、西森ルイス下院議員参加/ブラジル日本商工会議所とブラジル農牧研究公社との連携体制の構築について共同発表	100 人			チボリホテル
08	土曜日 「第20回日本祭り」開催式に安田篤副会頭が出席				サンパウロ・エキスポ・エキシビジョン&コンベンションセンター
09	日曜日				
10	JETROはサンパウロ・ブエノスアイレスサービス産業海外進出支援ミッション派遣/同ブエノスミッションには日本から4社が参加、7月12日のブエノスアイレスミッションにはチリーから日本企業1社、当所会員の日本企業5社に加え、亜国JETROからの特別要請に応えるため又メルコスル共同体を念頭に、会議所から平田藤義事務局長が				

	参加した。投資庁の Rodolfo G. Villalba 副総裁が「何故アルゼンチンは投資先として有望か」と題しアルゼンチン情勢について講演、				
11	政策対話委員会（栗屋聡委員長）労働WGは今年4回目の労働法改正案勉強会開催/講師の FATOR ASSESSORIA E CONSULTORIA のジルセウ佐藤氏とダクラス・マイア氏は、現行労働法及び労働改革案の改正点を比較しながら説明した。	20 人			
12					
13	日伯法律委員会（蔵掛 忠明委員長）開催 /Saeki Advogados 外資・会社法担当の MICHELE RESTUM HAIDAR パートナーは、“海外投資家はブラジル国内では一人の共営者とのみ会社設立可能” について /ozziniFreire Advogados 税制担当の CAMILA ABRUNHOSA TAPIAS パートナーは、“特別税制規制プログラム及び暫定令 MP 783/17, 訓令 IN 1.711/17、省令 PGFN 690/17 の概要” について/Trench, Rossi e Watanabe Advogados の CAROLINA MARTINS SPOSITO シニア弁護士は、“司法関連の保証と負債に対する効用” について/Gaia Silva Gaede Advogados の FELIPE PERALTA ANDRADE シニア弁護士は、“ICMS-ST に対する新協定 52/2017 のインパクト” .についてそれぞれ講演	45 人			
14					
15	土曜日				
16	日曜日				
17					
18	ジェトロサンパウロと日本商工会議所は、MDIC の協力を受け、セアラ ZPE（輸出加工特区）やその特区内にあるペセン製鉄所（Companhia Siderurgica do Pecem, CSP）、セアラ州のペセン港と特区を含んだペセン産業コンプレックス（Complexo Industrial e Portuário do Pecém, CIPP）、そして連邦技術訓練キャンパスを訪問し、ブラジル北東部への日系企業の進出や投資の可能性を実感してきた。参加者は、二宮康史政策対話副委員長（ジェトロサンパウロ）、事務局から平田事務局長、吉田調査員				
19	異業種交流委員会開催/サンパウロ大学教授のアキヒロ・イケダ氏並びに異業種交流委員会の井上 秀司委員長（三井住友保険ブラジル）、伊藤 卓哉 副委員長（三井住友保険ブラジル）、平田藤義事務局長、日下野成次総務担当と文化福祉協会で開催される「鈴木孝憲フォーラム」について打ち合わせを行った。				
20	政策対話委員会開催。第 20 回日伯経済合同委員会での AGIR 活動発表内容についての討議、各ワーキンググループ活動の進捗報告が行われた。また併せて本年度の活動予定についても擦り合わせを行い、より活発な政策対話活動にむけて有意義な意見交換。参加者は、政策対話委員会から栗屋聡委員長（ブラジル双日）、佐久間太郎副委員長（ブラジル双日）、櫻井淳副委員長（伯国三菱商事）、芦刈宏司副委員長（ブラジル三井物産）、二宮康史副委員長（ジェトロサンパウロ）、山				

	本裕也委員（ジェトロサンパウロ）、大塚未涼委員（ブラジル三井物産）、柳本安紀委員（ブラジル双日）、事務局より平田藤義事務局長、吉田章則調査員、近藤千里アシスタント。 企業経営・地場企業推進委員会（ワグネル 鈴木委員長）の労働問題研究会に 40 人参加。 TozziniFreire Advogados の Mihoko Sirley Kimura パートナーが「労働改正法案 何が変わるか」、Afimac Globa ラテンアメリカの Iuri Assumpção Ângelo メネージャーが「事案対策に関する自覚」と題してそれぞれ講演				
21	懇親昼食会/ウルグアイ経済財務省の Pablo Ferreri 事務次官は「信頼できる国、ウルグアイ」と題して講演	140 人			マクソウドホテル
22	土曜日				
23	日曜日				
24	「中南米日系社会との連携調査団」一行とブラジル市場の概要ブリーフなどについて意見交換会開催。国際協力機構（JICA）中南米部計画・移住課の松本仁氏は、「JICA の取組紹介」/平田藤義事務局長は、「商工会議所の活動、機能」について、/ジェトロサンパウロ事務所の久保所長は、「ジェトロの取組、対ブラジル事業概要」と題して/ブラジルダイソー社の大野恵介社長は、「ブラジル進出の体験談」と題してそれぞれ講演。				
25	政策対話委員会（栗屋聡委員長）労働WGは、今年 5 回目の労働法改正案勉強会開催/講師の FATOR ASSESSORIA E CONSULTORIA のジルセウ佐藤氏とダクラス・マイア氏。	13 人			
26	今年 2 回目の金融部会（栗原裕二部会長）懇談会開催。月 24 日の下期の業種別部会長シンポジウムにおける発表資料覚醒で意見交換。参加者は栗原部会長（ブラジル三井住友銀行）、安田副部会長（Sompo Seguros S. A）、田中副部会長（ブラジル三井住友銀行）、金子氏（ブラジル三菱東京UFJ銀行）、小渕氏（ブラデスコ銀行）、東氏（ブラジル東京海上日動火災保険）、松田氏（みずほコーポレート銀行）、石川氏（トヨタ銀行）、櫛引氏（JBIC）、藍原副領事（サンパウロ総領事館）、平田事務局長、吉田調査員、大角編集担当				
27	貿易部会（今井 重利部会長）開催/2017 年下期の業種別部会長シンポジウムの発表資料作成のため、テーマ：「2017 年上期の回顧と下期の展望」、副題：『回復途上のブラジル経済—いま打つべき戦略は』について、ドラフト資料を基に意見交換を行った。参加者は今井部会長（伊藤忠）、寺本部会長（ジェトロ）、奥川氏（伊藤忠）、中村氏（丸紅）、柳本氏（双日）、土屋氏（三井物産）、小湊氏（KBK ブラジル）、前田氏（東レ）、佐橋氏（伯国三菱商事）、藍原副領事（サンパウロ総領事館）、平田事務局長、吉田調査員、大角編集担当	13 人			

	経済産業省通商政策局の藤原晋一中南米室長並びに同中南米室の橋詰茜係長、ジェットロサンパウロ事務所の岩瀬恵一次長が会議所を訪問、8月30日にブラジルで開催予定の日伯貿易投資促進・産業協力合同委員会についての事前打合せ会合を政策対話委員会メンバーと行った。政策対話委員会から栗屋聡委員長、佐久間太朗副委員長、櫻井淳副委員長、二宮康史副委員長、大塚未涼委員、山本祐也委員、柳本安紀委員、事務局から平田事務局長、吉田調査員、近藤アシスタント、大角編集担当				
28	運輸サービス部会（細谷浩司部会長）は、8月24日に開催される業種別部会長シンポジウムの発表資料作成で意見交換/参加者は細谷部会長（日通）、宮川副部会長（NYK LINE）、矢澤副部会長（NTT）、谷口氏（栄進）、稲垣氏（JAL）、大胡氏（MOL）、金子氏（K-Line）、小宮氏（ツニブラ）、堤氏（ツニブラ）、江上氏（WEC）、井上氏（UBIK）、藍原副領事（サンパウロ総領事館）、平田事務局長、吉田調査員、大角編集担当				
29	土曜日				
30	日曜日				
31					

2017年8月 活 動 報 告 書

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
01	2017年第2四半期の業務・会計監査/監事会からカロリーナ・サカマ監事会議長（PwC）、森重秀一監事（デロイト）、ウーゴ・アマノ監事（BDO Brazil）、財務委員会から廣瀬 量哉副委員長（ブラジルみずほ銀行）、大淵 彰規副委員長（丸紅ブラジル）、また Orgatec - Organização Técnica Contábil 社からタケシ・ミツヤマ氏とカリーナ・マスカロス氏/事務局からは平田 藤義事務局長、日下野 成次総務担当、エレナ・ウエダ会計担当、久場アレッシャンドレ会計担当補佐が参加				

	政策対話委員会事務局が JICA、JETRO と一緒にブラジル自動車部品工業会 (SINDIPEÇAS) を訪問/参加者は、JICA ブラジル事務所：飯山聖其業務班長、中川マリーナコーディネーター、JETRO サンパウロ：岩瀬恵一次長、山本祐也ダイレクター、政策対話委員会：吉田章則調査員、近藤千里アシスタント				
02	食品部会（黒崎正吉部会長）開催/2017 年下期の業種別部会長シンポジウムの発表資料作成では、「2017 年上期の回顧と下期の展望」、副題として：『回復途上のブラジル経済－いま打つべき戦略は』では、参加者がそれぞれ自社の業績などについて発表/参加者は黒崎部会長（味の素）、降旗副部会長（三井アリメントス）、秋元副部会長（キッコーマン）、関氏（味の素）、尾崎氏（東麒麟）、高橋氏（ハラルド）、塚本氏（ナガセ）、江坂氏（イグアスー）、根本氏（ヤクルト）、美馬氏（ヤクルト）、光廣二等書記官（日本大使館）、藍原副領事（サンパウロ総領事館）、平田事務局長、日下野総務補佐、ロンドリーナ市からは Marcelo Belinati Martins（ロンドリーナ市長）、Guilherme Casanova（農務局長）、Pedro José Granja Sella（Codel）、Mario Hitoshi Neto Takahashi（議員）、Jairo Tamura（議員）、Eduardo Tominaga（議員）、Megumi Goto Hayashi（通訳）が参加				
03	政策対話委員会（栗屋聡委員長）労働WG/今年 6 回目の労働法改正案勉強会/出席者は、佐久間太郎氏（双日）、山崎一郎氏（味の素）、前田太輔氏（東レブラジル）、景山和行氏（トヨタ）、浜本香織氏（トヨタ）、ジルセウ佐藤氏（FATOR ASSESSORIA E CONSULTORIA）、ダクラス・マイア氏（FATOR ASSESSORIA E CONSULTORIA）、宇野怜輔氏（損保ジャパン）、上床憲司氏（伊藤忠ブラジル）、柳本安紀氏（双日ブラジル）、山内悠輝氏（損保ジャパン）、平田藤義事務局長、吉田章則調査員、近藤千里アシスタント、大角総丙編集担当。 コンサルタント部会（西口 阿弥部会長）開催/業種別部会長シンポジウムの発表資料作成/参加者は西口部会長（EY）、今井副部会長（VMPG）、篠原副部会長（パイオニア）、山下氏（ヤコン）、吉田氏（KPMG）、ウイルソン・コト氏（ABE Advogados）、ジルセウ佐藤氏（FATOR ASSESSORIA E CONSULTORIA）、ダクラス・マイア氏（FATOR ASSESSORIA E CONSULTORIA）、蛭子領事、平田事務局長、大角編集担当、吉田調査員				
04					
05	土曜日				
06	日曜日				
07	機械・金属部会（池辺 和博部会長）は 2017 年下期の業種別部会長シンポジウムの発表資料作成で開催/参加者は池辺部会長（日立サウスアメリカ）、馬場副部会長（kobelco）、渡辺氏（カワサキ）、吉川氏（Yokogawa）、				

	上田氏（三菱重工）、馬場氏（三菱重工）、根岸氏（Azbil）、井川氏（AMADA）、岡本氏（MMC）、小湊氏（KBK DO BRASIL）、高橋氏（JFE SHOJI）、長谷川氏（ユシロ）、小野沢氏（荏原製作所）、蛭子領事（サンパウロ総領事館）、平田事務局長、大角編集担当				
08	第3回インフラワーキンググループ開催/TOZZINI FREIRE 弁護士事務所の幕田潤パートナー及びレオナルド・ミランダ（Leonardo Miranda）弁護士らによる『下水道事業におけるビジネスチャンス ～民営化～ 下水道セクターの今後とリスクについて “Oportunidades em Saneamento: a próxima desestatização - Como funciona o setor? Quais os riscos?”』と題する講義と、JICA ブラジルが8月3日サルバドールで共催した水セミナーについて宮本義弘 JICA ブラジル次長より報告、8月30日に開催を控える第1回インフラ作業部会について在ブラジル日本国大使館の西川洋祐一等書記官より説明/参加者は、西川洋祐在ブラジル日本国大使館一等書記官、宮本義弘メンバー/グループ長代理（JICA ブラジル事務所）青山健太郎メンバー（ブラジル三菱東京 UFJ 銀行）、櫛引智雄メンバー国際協力銀行（JBIC）、高野哲史メンバー（ブラジル戸田建設）、吉田幸司メンバー（KPMG）、遠藤マウリシオメンバー（KPMG）、幕田潤メンバー（TOZZINI FREIRE 弁護士事務所）、レオナルド・ミランダ氏（TOZZINI FREIRE 弁護士事務所）、ANA CÂNDIDA DE MELLO CARVALHO 氏（TOZZINI FREIRE 弁護士事務所）、BÁRBARA DE ABREU MORI 氏（TOZZINI FREIRE 弁護士事務所）、中島寛和氏（丸紅ブラジル）、福井盛一メンバー（伯国三菱商事）、飯田俊太郎メンバー（ブラジル住友商事）、篠田氏（ブラジル住友商事）、藍原健在サンパウロ日本国総領事館副領事、山本裕也政策対話委員会委員（ジェトロサンパウロ）、柳本安紀政策対話委員会委員（双日ブラジル）、平田藤義会議所事務局長、吉田章則政策対話委員会調査員、近藤千里政策対話委員会アシスタント。 017 年下期の業種別部会長シンポジウムの発表資料作成のため、繊維部会（豊田 明生部会長）開催/参加者は豊田部会長（ユニチカ）、浅川副部会長（日清紡）、大島 副部会長（クラシキ）、南村氏（東洋紡）、横山氏（オオミ繊維）、平池氏（東レ）、前田氏（東レ）、辻氏（YKK）、藍原副領事（サンパウロ総領事館）、平田事務局長、吉田調査員、大角編集担当 建設不動産部会（奥地正敏部会長）は、業種別部会長シンポジウムの発表資料作成で意見交換/参加者は奥地部会長（戸田建設）、釘本副部会長（CGC）、根岸氏（AZBIL）、宮下氏（三菱電機）、上岡氏（戸田建設）、大滝氏（ホス建設）、森口氏（スターツ ブラジル）、南氏（デニブラ）、蛭子領事（サンパウロ総領事館）、平田事務局長、吉田調査員、大角編集担当				
09	業種別部会長シンポジウムの発表資料作成				

	のための第2回運輸サービス部会（細谷浩司 部会長）開催/参加者は細谷部会長（日通）、宮川副部会長（NYK LINE）、矢澤副部会長（NTT）、堤氏（ツニブラ）、江上氏（WEC）、井上氏（UBIK）、棧氏（Boxon）、谷口氏（栄進）、稲垣氏（JAL）、坂本氏（全日空）、元吉氏（クイックリトラベル）、大胡氏（MOL）、内村氏（ブルーツリーホテル）、蛭子領事（サンパウロ総領事館）、藍原副領事（サンパウロ総領事館）、平田事務局長、大角編集担当 化学品部会（鎌倉 勇人部会長）は、2017 年下期の業種別部会長シンポジウムの発表資料作成/参加者は鎌倉部会長（スリーボン ド）、中村副部会長（久光製薬）、村松副部会長（パイロットペン）、羽田副部会長（日本曹達）、長門氏（ダイカラー）、友納氏（フジフイルム）、板屋氏（ハリマ）、谷山氏（ロート）、本間氏（丸紅）、田中氏（三井化学）、塚本氏（長瀬産業）、森氏（大塚化学）、前田氏（東レ）、平池氏（東レ）、南村氏（東洋紡）、金剛氏（宇部興産）、蛭子領事（サンパウロ総領事館）、平田事務局長、大角編集担当				
10	電気電子部会（千野 浩毅 部会長）は、2017 年下期の業種別部会長シンポジウム発表資料作成で意見交換/参加者は千野部会長（ソニー）、三井副部会長（エプソン）、君崎副部会長（ムラタ ワールド）、田島副部会長（パナソニック）、吉川氏（Yokogawa AM DO SUL）、伊豆山氏（CIS Elettronica）、ミゲル・ススム・ジョ氏（ブラジル TDK）、大沢氏（キャノン）、中富副領事（サンパウロ総領事館）、平田事務局長、吉田調査員、大角編集担当 8 月の日 伯 法 律 委 員 会(蔵掛 忠明委員長)開催/Licks Advogados 知財権担当の OTAVIO BEAKLINI 弁護士は、特許審査ハイウェイ (PPH) について、「Pinheiro Neto Advogados 税務担当の LUIZ FERNANDO DALLE LUCHE MACHADO シニアマネージャーは、関税費用とその税務への影響について、Machado Meyer Advogados の CAMILA GALVÃO パートナー弁護士は、税務戦争の終わりか? 上院が下院の変更案第 5/2017 号を承認についてそれぞれ講演	65 人			
11	自動車部会（溝口 功部会長）は、2017 年下期の業種別部会長シンポジウム発表資料作成で意見交換/参加者は溝口部会長（ホンダサウスアメリカ）、新保氏（デンソーブラジル）、小西氏（AISIN AUTOMOTIVE）、夏目氏（ホンダサウスアメリカ）、岡田氏（ホンダサウスアメリカ）、清水氏（ホンダサウスアメリカ）、奥山氏（JX NIPPON OIL）、鈴木氏（Midori Auto Leather）、塚原氏（NGK）、田辺氏（NGK）、下前原氏（三菱コーポレーション）、塚本氏（ナガセ）、渡部氏（Nitto Denko）、高橋氏（NS São Paulo）、森氏（大塚化学）、寅田氏（TORATA）、広瀬氏（ブラジルトヨタ）、渕上氏（ブラジルトヨタ）、岩瀬氏（ジェトロ）、山本氏（ジェトロ）、蛭子領事（サンパウロ総領事館）平田事務局長				

	長、吉田調査員、大角編集担当				
12	土曜日 相互啓発委員会（富島 寛委員長）主催で第45回カマラゴルフ大会開催/優勝は YONEMORI 様 (Sojitz) が Lily 47・Pansy 44、HC 24、NET 67 のスコアで獲得、2位には UEDA 様 (CBD Mecânica Industrial)、3位には KIBE 様 (Ubik)。 第23回ジャパン・カップレース観戦/第23回ジャパン・カップレースが開催されたサンパウロ・ジョッキークラブには、松永愛一郎 会頭ご夫妻並びに安田篤副会頭ご夫妻、会議所会員 80 人以上が参加、安田篤副会頭は、9 レースのブラジル日本商工会議所杯の優勝関係者に記念品を贈呈。	34 人			サンパウロ PL ゴルフクラブ サンパウロ・ジョッキークラブ
13	日曜日				
14					
15	異業種交流委員会と「鈴木孝憲フォーラム」打合せ会議開催/サンパウロ大学教授のアキヒロ・イケダ氏並びに異業種交流委員会の井上 秀司委員長（三井住友保険ブラジル）、元ブラジル東銀頭取の鈴木孝憲氏、イジードロ山中氏（元農務大臣補佐官）、伊藤 卓哉 副委員長（三井住友保険ブラジル）/平田藤義事務局長並びに日下野成次総務担当				
16	2017 年下期の業種別部会長シンポジウム開催案内で邦字新聞社 2 社を訪問/企画戦略委員会の大久保敦委員長、平田藤義事務局長が邦字新聞社のサンパウロ新聞社並びにニッケイ新聞社を訪問、				
17	企業経営・地場企業推進委員会(ワグネル 鈴木委員長)の労働問題研究会/Tanaka, Izá e Xavier Advogados の ANA TERESA VILLARES WHITAKER DE TOLEDO PIZA パートナーは、テーマ『腐敗行為防止のコンプライアンスー経営者のプラクティス』について、Gaia Silva Gaede Advogados 労働法担当マネジャーの GABRIELLA NUDELIMAN VALDAMBRINI シニアパートナーは、テーマ・『労働法改正ー企業への主なインパクト』についてそれぞれ講演	55 人			
18	8 月の懇親昼食会開催/全国産業職業訓練機関 (SENAI) サンパウロ州統括社会工業サービス (SESI) の Walter Vicioni サンパウロ支部取締役は、「ニューテクノロジー到来に伴う技術者指導の新たな課題」と題して講演	120 人			インターコンチネンタルホテル
19	土曜日				
20	日曜日				
21	メディカル分科会小会合を開催/藤原慎哉在ブラジル日本大使館二等書記官と意見交換/参加者は、メディカル分科会より鈴木政行分科会長（テルモメディカル）、友納睦樹副分科会長（フジフィルム）、土屋 功副分科会長（パラマウントベッド）、市川 幸太郎副分科会長（日本光電）、また藤原慎哉 在ブラジル日本国大使館二等書記官と蛭子英稔 在サンパウロ総領事館領事、オブザーバーとして佐藤洋史 JICA ブラジル事務所次長、辻本希世 ジェトロサンパウロダイレクター、柳本安紀 政策対話委員（双日ブラジル）も出席。事務局からは平田事務局長、吉田調査員、近藤アシスタント				
22	日本総務省の総務審議官と進出 ICT 企業との				

	意見交換会/参加者は総務省側から富永 総務審議官、菱沼 国際経済課長、桜井 国際経済課課長補佐、今泉 国際経済係長、津軽 国際経済係員、藤原 在ブラジル日本国大使館二等書記官/ICT企業側からNTTブラジルの矢澤社長、NTT DOCOMO ブラジルの吉澤社長、EVERIS の安西取締役、古河電工ブラジルの土井副社長、日立国際リネアールの市川 CEO 、同三好 CSO、NEC ラテンアメリカの高田社長、同水口シニアマネージャー、会議所から平田事務局長、吉田調査員、大角編集担当				
23					
24	総務委員会（小池 淳介委員長）並びに企画戦略委員会（大久保 敦 委員長）共催の 2017 年下期業種別部会長シンポジウム開催/金融部会 栗原 裕二部会長（三井住友銀行） 貿易部会 今井 重利部会長（伊藤忠） 機械金属部会 池辺 和博部会長（日立南米社） 自動車部会 溝口 イサオ部会長（ホンダ） コンサルタント部会 西口 阿弥 部会長（EY） 後半の司会：大久保 敦 企画戦略委員長 化学品部会 鎌倉勇人 部会長（スリーボンド） 電気電子部会 千野 浩毅 部会長（ソニー） 食品部会 黒崎 正吉 部会長（味の素） 運輸サービス部会 細谷 浩司 部長（日本通運） 建設不動産部会 奥地 正敏 部長（戸田建設） 繊維部会 豊田 明生 部会長（ユニチカ） 講評・コメント 蛭子 英稔 領事（サンパウロ総領事館） 閉会の辞 小池 淳介 総務委員長	210 人			インターコンチネンタルホテル
25	産業競争力強化・中小企業育成WG（竹内パウロ WG 長）の会合/参加者は、竹内パウロ WG 長（ホンダサウスアメリカ）、フェリペ・バルボザメンバー（ホンダサウスアメリカ）、村松明メンバー（アイシン）、奥野直樹メンバー（デンソーブラジル）、広瀬大輔メンバ				

	ー（トヨタブラジル）、佐藤洋史メンバー（JICA）、佐久間太郎政策対話副委員長（双日ブラジル）、山本裕也政策対話委員（ジェトロサンパウロ）、岩瀬恵一氏（ジェトロサンパウロ）、事務局から平田藤義事務局長、吉田章則調査員、近藤アシスタント。 山田彰在ブラジル日本国特命全権大使歓迎会が開催/当所からは松永会頭、平田藤義事務局長のほか、ANA、Banco Mizuho do Brasil、Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro、Daikin、Epson、Fujifilm、Hitachi、Jijipress、Mitsubishi Electric、NEC Latin America、Nippon Steel & Sumitomo Metal、Yakult 等、多くの会員企業代表者らが参加 通関ワーキンググループの石嶋勇グループ長と森田透副グループ長が会合/事務局からは平田事務局長、吉田調査員、近藤アシスタントが参加				
26	土曜日				
27	日曜日				
28	第 20 回日本ブラジル経済合同委員会は、全国工業連合（CNI）並びに経団連、パラナ州工業連盟共催				パラナ州工業連盟
29	第 20 回日本ブラジル経済合同委員会は、全国工業連合（CNI）並びに経団連、パラナ州工業連盟共催				パラナ州工業連盟
30	第 5 回貿易投資促進・産業協力合同委員会開催				ブラジリア
31	日伯インフラ協力第 1 回会合				ブラジリア

2017 年 9 月 活 動 報 告 書

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
01	労働 WG 日伯労働法ブックレット監修チーム第 2 回会合/出席者は、上床憲治チームリーダー（伊藤忠ブラジル）、加藤周平メンバー（新日鉄住金）、森雄太メンバー（丸紅ブラジル）、前田太輔メンバー（東レブラジル）、辻元希世メンバー（ジェトロサンパウロ）、ジルセウ佐藤弁護士（Fator Assessoria）、平田会議所事務局長、吉田政策対話委員会調査員、近藤政策対話委員会アシスタント。 運輸サービス部会の細谷 浩司部会長（ブラジル日本通運）並びに矢澤 吉史俊明副部会長（NTT ブラジル）、吉澤副部会長（NTT DOCOMO ブラジル）が商工会議所を訪問、応対した平田藤義事務局長並びに日下野成次総務担当と 10 月 19 日開催予定の ICT（Information and Communication Technology）TOP Seminar について意見交換を行った。 企業経営・地場企業推進委員会（ワグネル 鈴木委員長）主催の日本語・英語によるブラジル労働法改正セミナー開催/日本語講師 は 角田太郎 パートナー アンダーソン・毛利・友常法律事務所 東京オフィス並びに英語の講師は、ヴィルマ・クトミ パートナー	80 人			Mattos Filho 弁護士事務所
02	土曜日				

	行頭取は、「ブラジル経済・ビジネスを見る視点」と題してそれぞれ講演				
15	9月の懇親昼食会/パラ州経済開発公社のオラヴォ・ダス・ネヴェス総裁は、「パラ州におけるビジネスチャンス」について講演	120人			マクソウドホテル
16	土曜日				
17	日曜日				
18	政策対話委員会は、政策対話委員会労働ワーキンググループ 労働法改正セミナーチームが主催で開催する労働法改正セミナーについて、講演者の候補であるCNI担当官と打合せを行った。/参加者は、CNIからRafael Ernesto Kieckbusch氏（産業政策スペシャリスト）、Desiree Goncalo Timo氏（産業政策アナリスト）、会議所から平田藤義事務局長、柳本安紀政策対話委員会委員（双日ブラジル）、吉田章則政策対話委員会調査員。 政策対話委員会課税ワーキンググループ（古本尋海グループ長）がCNI（ブラジル全国工業連合）との会合を実施し、課税/税務に関する意見交換を行った。参加者は、CNIよりFlavio Castelo Branco 経済政策エグゼクティブマネージャー、Mário Sérgio Carraro Telles 産業政策担当スペシャリスト、Fabrizio Sardelli Panzini 産業政策担当スペシャリスト、政策担当のConstanza Negri シニアアドバイザー、CNI企業交渉担当のSilvia Menicucci スペシャリスト。会議所からは古本尋海グループ長（NEC）、篠原一宇副グループ長（バイオニアブラジル）、芦刈浩司政策対話委員会副委員長（ブラジル三井物産）、二宮康史政策対話委員会副委員長（ジェトロサンパウロ）、柳本安紀政策対話委員会委員（双日ブラジル）、吉田幸司課税WGメンバー（KPMG）、エバンドロ・チバ氏（KPMG）、平田藤義会議所事務局長、吉田章則政策対話委員会調査員、近藤千里政策対話委員会アシスタント。				CNI ブラジリア本社
19					
20	平田藤義事務局長はSinproquim講演会に参加/「朝食を取りながらの意見交換会」でジャーナリストのアウグスト・ヌーネス氏がテーマ「ブラジルの政治シナリオ」について講演。 第3回労働WG労働法ブックレット監修チーム会合開催/出席者は、上床憲司チームリーダー（伊藤忠ブラジル）、加藤周平メンバー（新日鉄住金）、高橋良明メンバー（ホンダサウスアメリカ）、前田太輔メンバー（東レブラジル）、ジルセウ佐藤弁護士、ダグラス・マイア弁護士、平田会議所事務局長、吉田政策対話委員会調査員、近藤政策対話委員会アシスタント。				
21					
22	企業経営・地場企業推進委員会（鈴木ワグネス委員長）並びにピネイロ・ネット法律事務所（Pinheiro Neto Advogados）との共催のブラジル労働法改正セミナー/ピネイロ・ネット法律事務所のルイス・アントニオ・メンデス パートナー弁護士並びにチアゴ・テノ弁護士、マウリシオ・ギジ弁護士は、ブラジ	200人			ピネイロ・ネット法律事務所

	ル労働法改正について、主に規制モデルや裁判紛争、労働法改正に関する 12 重要ポイント、今後の見通しなどについて講演した。				
23	土曜日				
24	日曜日				
25					
26					
27					
28	環境委員会（植田真五委員長）は、今後の環境委員会活動として、見学会やセミナー開催などに多岐にわたって意見交換を行った。参加者は環境委員会から植田真吾委員長（三菱重工）、寺本将人副委員長（住友商事）、馬場新副委員長（三菱重工）、Dário Masahiko Yanagita 副委員長代理（トヨタ）、商工会議所からは平田藤義事務局長並びに日下野成次総務担当				
29	インダストリー4.0 促進プログラムの発表セミナーが FIESP にて開催/リカルド・テーハ SENAI-SP 技術部長、ルイス・アウグスト・デ・ソウザ・フェレイラ ABDI 総裁、ラファエル・モレイラ MDIC 特別補佐官、ジョゼ・リカルド・ロリス・コエーリョ FIESP 副会長らがスピーチを行った後、インダストリー 4.0 に関する専門家らが講演/商工会議所からは平田藤義事務局長が出席				サンパウロ州工業連盟（FIESP）本部
30	土曜日				

2017 年 10 月 活 動 報 告 書

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
01	日曜日				

02					
03					
04					
05	10月の日 伯 法 律 委 員 会(蔵掛 忠明委員長)開催/BDO Brazil の HUGO AMANO 税制担当共営者は、「税源浸食と利益移転 (BEPS: Base Erosion and Profit Shifting) について」、TozziniFreire Advogados 税制担当の RAFAEL BALANIN シニア弁護士は、「創業間もない企業に対し資金を供給する富裕なエンジェル投資家に対する課税について」、Pinheiro Neto Advogados の LEONARDO BATTILANA シニア弁護士は、「ブラジルのインフラ投資におけるファイナンスリスク分担について」、最後に LRI Advogados (Lautenschlager, Romeiro e Iwamizu Advogados) の RAUL PINHEIRO DONEGÁ シニア弁護士は、「ブラジルのインフラ投資におけるファイナンスリスク分担について」、それぞれ講演 政策対話委員会(栗屋聡委員長) 産業競争力強化・中小企業育成ワーキンググループ(竹内パウロ グループ長) 主催の日本の協力によるブラジル自動車部品裾野産業育成セミナー開催/開発商工省 (MDIC) 宇宙航空・防衛産業部門のアナ・カロリーネ・スズキ ジェネラルコーディネーターは、「ROTA2030 プログラムにおける部品サプライヤー育成」/全国産業職業訓練機構サンパウロ支部 (SENAI—SP) のリカルド・テラ取締役は、「イノベーションテクノロジー職業訓練」/広瀬大輔 WG メンバーは、産業競争力強化・中小企業育成 WG からの提言として、政策対話委員会の AGIR 活動として課税、通関、労働、産業競争力強化・中小企業育成及びインフラ WG を紹介/JICA ブラジル事務所の宮本義弘次長は、「ブラジル自動車部品産業における JICA の協力」/JICA 提供による日本での職業訓練研修に参加したタデウ氏/日本での職業訓練研修に参加した岡崎氏は、職業訓練機関 (SENAI) のパウロ・ソウザセンター (CPS) による職業訓練/ブラジル自動車部品工業会 (SINDIPEÇAS) 研修開発部門のドーラ・オリヴェイラ補佐は、「SINDIPEÇAS の今後のプロジェクト計画」/JETRO サンパウロ事務所の大久保 敦所長は、「日本企業とのビジネス機会」/最後に Emicol Eletro Eletronica S. A. のリカルド・サンパイオ取締役は、「企業の改善プロセス」についてそれぞれ講演	40 人 160 人			インターコンチネンタルホテル
06					
07	土曜日				
08	日曜日				
09					
10	運輸サービス部会執行部一行が訪問/運輸サービス部会長のブラジル日本通運の細谷 浩司社長、日本郵船ブラジル (NYK Line do Brasil) 社長から邦船 3 社統合新会社サンパウロ現地法人 Ocean Network Express に栄転する運輸サービス副部会長の宮川 俊介代表並びに後任の NYK Line do Brasil の吉田信吾社長を訪問、細谷部会長は、応対した平田藤義事務局長に NYK Line グループの組織変				

	更並びに吉田信吾社長の運輸サービス副部長就任を報告した。				
11	運輸サービス部会（細谷 浩司部会長）は、11月23日に開催予定のGRU（グアルーリオス）空港視察旅行についてスケジュールや視察ポイントなどについて意見交換会/運輸サービス部会からはブラジル日本通運の細谷浩司部会長（ブラジル日本通運）、矢澤吉史副部会長（NTT do Brasil Telecomunicações）、エドアルド・サカモト氏（All Nippon Airways - ANA）、小宮陽氏（Tunibra Travel）、エドアルド・堤氏（Tunibra Travel）、商工会議所から平田藤義事務局長、日下野成次総務担当、前田カーナ アシスタントが参加				
12	聖母アバレンダ（ブラジル守護神）の日				
13	振替休日				
14	土曜日				
15	日曜日				
16	10月19日午後3時から商工会議所会議室で開催される事業経営者及び情報管理責任者向けのITトップセミナー開催について運輸サービス部会を開催、運輸サービス部会からは、ブラジル日本通運の細谷 部会長（ブラジル日本通運）、矢澤副部会長（NTT do Brasil Telecomunicações）、木村氏（NTT do Brasil Telecomunicações）、大島氏（NTT Communications）、吉澤氏（NTT DOCOMO Brasil Serviços de Telecomunicação.）、商工会議所から平田事務局長、日下野総務担当が参加。				
17	野口泰在サンパウロ日本国総領事歓迎会が開催/日系主要5団体からはブラジル日本文化福祉協会の呉屋春美会長、サンパウロ援護協会の税田清七副会長、ブラジル日本都道府県人連合会の山田康夫会長、日伯文化連盟の大城幸夫会長、商工会議所からは会頭代理で安田篤副会頭が出席。 田中 信 第15代会頭の初七日の追善供養/友人、PLゴルフクラブ、会議所会員企業代表者等が参列満席の中で厳粛に執り行われた。弔辞は故人の冥福を祈り、生前の功績を偲び特に長く深い関係にあった後藤 隆 第8代会頭および村田俊典 第19代会頭が述べた。会議所から平田藤義事務局長が参列した。				ブラジル日本文化福祉協会貴賓室 曹洞宗佛心寺
18	企業経営・地場企業推進委員会（ワグネル 鈴木委員長）の労働問題研究会開催/Abe, Guimarães e Rocha Neto Advogados の FERNANDA GARCEZ LOPES CUNHA パートナーは『ホームオフィス勤務とテレワーク』について、Stüssi-Neves Advogados 労働法担当の MARIA LÚCIA MENEZES GADOTTI パートナーは、『労働法改正における新たな雇用形態』についてそれぞれ講演。	55 人			
19	運輸サービス部会（細谷浩司部会長）主催のITトップセミナー開催/講師に安西圭 Everis Spain 取締役/NTT データ EMEA・中南米事業本部部長を迎えて、「デジタル・トランスフォーメーション」/講師にNTT コミュニケーションズ マネージドセキュリティサービス推進室の竹内文考室長を迎えて「経営視点か	70 人			

	ら考える日本企業の情報セキュリティ」/講師に NTT ドコモ国際事業部米州・グローバル法人担当の東田哲典部長を迎えて、「IoT (Internet of Things :モノのインターネット) 最新動向と導入事例」/吉澤 俊明 NTT DOCOMO BRASIL 取締役社長は、「ブラジルにおける IoT の導入、事例紹介」についてそれぞれ講演。				
20	10月の懇親昼食会開催/特別参加者として野口 泰新 在サンパウロ日本国総領事館総領事、安西 圭 Everis Spain 取締役/NTT データー EMEA・中南米事業本部部長、NTT コミュニケーションズ マネージドセキュリティ サービス推進室の竹内 文考室長が紹介された。	130 人			インターコンチネンタルホテル
21	土曜日				
22	日曜日				
23	政策対話委員会開催/(政策対話委員会) 栗屋聡委員長 (ブラジル双日) 佐久間太朗副委員長 (ブラジル双日) 櫻井淳副委員長 (ブラジル三菱商事) 芦刈宏司副委員長 (ブラジル三井物産) 二宮康史副委員長 (ジェトロサンパウロ) 大塚未涼委員 (ブラジル三井物産) 柳本安紀委員 (ブラジル双日) (オブザーバー) 岩瀬恵一 ジェトロサンパウロ次長 志賀大祐 ジェトロ海外調査部米州課 (中南米) (事務局) 平田藤義事務局長 吉田章則調査員 近藤千里アシスタント				
24					
25					
26	政策対話委員会のインフラ WG 活動について意見交換会開催/栗屋聡委員長 (ブラジル双日)/斎藤顕生 JICA ブラジル事務所長 (JICA) /柳本安紀委員 (ブラジル双日)/平田藤義事務局長/吉田章則調査員/近藤千里アシスタント				
27					
28	土曜日				
29	日曜日				
30					
31	政策対話委員会のインフラ WG 活動について意見交換会開催/栗屋聡委員長 (ブラジル双日)/櫛引智雄メンバー (国際協力銀行/J B I C) /柳本安紀委員 (ブラジル双日) /平田藤義事務局長/吉田章則調査員/近藤千里アシスタント				

2017 年 11 月 活 動 報 告 書

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
01					
02	精霊祭				
03	土曜日				
04	日曜日				
05					
06	ブラジル日本青年会議所（JCI Brasil-Japão）主催の Luiza Helena Trajano Magazine Luiza 経営審議会会長の講演会/平田藤義事務局長参加	400 人			マクスード・プラザホテル
07					
08	政策対話委員会（栗屋聡委員長）労働ワーキンググループ（山崎 一郎 グループ長）主催のブラジル労働法改正に関するセミナー ～日本企業の視点～と題して講演/CNI（ブラジル全国工業連盟）の産業政策スペシャリストで、労働関連調査書の作者メンバーの Desirée Gonçalo Timo 氏は、テーマ ブラジル労働法改正法概要と題して講演/パネルディスカッション第一部 テーマ/TEMA：組合との団体交渉のモデレーターは、企業経営・地場企業推進委員会（ワグネル 鈴木委員長）のセイジ・フェルナンド・ミハラ副委員長/パネラーには、Ivo Dall'Água Junior 氏 - FECOMERCIO SP（サンパウロ州商業連盟）副代表/交渉政策委員会代表並びに André Luis Saraiva 氏 - ABINEE（ブラジル電気電子工業会）/ CNI 労働審議会メンバー、Fabio Luiz Ceregatto 氏 - ブラジル味の素社 人事部ダイレクター、Ricardo Yukishigue Kitajima 氏 - ブラジルホンダサウスアメリカ社 人事部ダイレクターの 4 人が参加/パネルディスカッション第二部 テーマ【労働契約と勤務時間】のモデレーターは、Desirée Gonçalo Timo 氏 - CNI 産業政策スペシャリスト、パネラーは Rodrigo Dias da Fonseca	200 人			インターコンチネンタルホテル

	氏 - 地方労働裁判所裁判官、Mihoko Sirley Kimura - TozziniFreire 弁護士事務所、Celso Ricardo Mendes 氏 - 損保ジャパン日本興亜社 業務部ダイレクター、Jyun Onuma 氏- ブラジル三菱東京 UFJ 銀行法務部ダイレクターの 4 人が参加				
09	2017 年第 3 四半期の業務・会計監査開催。監事会からカロリーナ・サカマ監事会議長 (PwC)、森重秀一監事 (デロイト)、マリオ・サトウ監事 (Global Link)、また Orgatec - Organização Técnica Contábil 社からタケシ・ミツヤマ氏が参加して開催。事務局からは平田 藤義事務局長、日下野 成次総務担当、エレナ・ウエダ会計担当、久場アレクシャンドレ会計担当補佐が参加 11 月の日 伯 法 律 委 員 会 (蔵掛 忠明委員長) 月例会/Licks Advogados 反トラスト法担当の LUCIANA MARTORANO パートナーは、 「カルテル形成による損害賠償に対する民事訴訟—新たな訴訟に対する対応について」、 Deloitte Touche Tohmatsu 税制担当の ANTENOR CASTRO MINTO 取締役は、「電子会計・税務申請システム監査—ケーススタディについて」、 PwC デジタル技術担当の LUCIA ISHIDO 取締役は、「会計・税務業務の機械化による代行について」、最後に Gaia Silva Gaede Advogados の MAURÍCIO BARROS パートナーは、「商品流通サービス税 (ICMS) の新協定 106 号/2017 による税金戦争の新たな一章について」それぞれ講演	60 人			
10	貿易部会のメディカル分科会 (鈴木政行分科会長) / 吉田章則調査員は、平成 29 年度の新興国ロビイング活動支援事業について、補助金を活用した活動計画、成果目標、事業費活動などについて説明/メディカル分科会提言書では、先端医療機器製品を迅速且つ適正価格にて医療現場へ提供するための提言として、アンケート調査による大項目として、INMETRO 認証制度、中項目として同一製品に対する認証更新時のテストレポート有効期限御撤廃、また大項目としての ANVISA 手続の柔軟化、迅速化の中項目では、港湾における I/L 審査時間の迅速化と平準化、GMP 監査の迅速化の (1) として相互協定締結国の保健規制当局が保有する GMP 認証に関する情報の活用。(2) として ANVISA が認めた第三者認証機関による GMP 監査の実施、事務所を移転する場合の事業継続かの円滑化、審査期間の短縮及び AFE の暫定的な即時発行に対する現状及び要望について、それぞれ説明/参加者は、鈴木 分科会長 (テルモ)、栗屋 政策対話委員長 (双日)、的場 副分科会長 (島津製作所)、塩田 副分科会長代理 (富士フイルム)、土屋 副分科会長 (パラマウントベッド)、高橋氏 (パラマウントベッド)、小松氏 (ホス建設)、高柳氏 (島津製作所)、柳本氏 (双日)、前田氏 (東レ)、和久津氏 (ナガセ)、朝倉氏 (カネカ)、中村氏 (久光製薬)、辻本氏 (ジェトロ)、岩瀬氏 (ジェトロ)、金子氏 (ジェトロ)、佐藤氏 (ジャイカ)、蛭子領事 (サンパウロ総領事館)、	21 人			

	平田事務局長、吉田調査員、大角編集担当。				
11	土曜日				
12	日曜日				
13					
14					
15	共和国独立記念日				
16	第4回インフラワーキング会合（斉藤顕生グループ長）を開催し、今後の BNDES との政策対話、AGIR 提言内容の見直し、第1回日伯インフラ協力会合開催を踏まえ次回会合にむけての活動方針などについて協議が行われた。/ 企業経営・地場企業推進委員会（ワグネル 鈴木委員長）の労働問題研究会/Honda, Teixeira, Araújo, Rocha Advogados の FÁBIO ABRANCHES PUPO BARBOZA 取締役は、『労働法改正』について、Cruzeiro Newmarc Patentes e Marcas Ltda. の LUÍS EDUARDO SETTI CAUDURO PADIN 弁護士は、『知的財産保護の重要性と知財におけるデューデューリジェンス』について、それぞれ講演	40 人			
17	11月の懇親昼食会開催 /Danilo Igliori サンパウロ大学経済学教授は、テーマ「ブラジル経済見通し及び居住用不動産市場概要」と題して講演 課税ワーキンググループ（古本尋海グループ長）会合開催/今年6月に実施した課税に関するアンケート調査分析結果と、8月30日に行われた貿投委および9月18日行ったCNIとの課税に関する意見交換会での発表/討議内容について報告が行われた。	130 人			チボリホテル
18	土曜日 第46回カマラゴルフ会開催/優勝はESAKA様（CIA IGUAÇÚ DE CAFÉ）がGlory 42・Lily 48、HC 22、NET 68のスコアで獲得、2位にはYOSHIMURA様（SUMITOMO CORPORATION）、3位にはTAJIMA様（SANYO DA AMAZONIA）。ベストグロス賞はOSHIMA様（KURASHIKI DO BRASIL）がGlory 47・Lily 38、GROSS 85で獲得。	34 人			PL ゴルフクラブ
19	日曜日				
20					
21	政策対話委員会（栗屋聡委員長）労働ワーキンググループ（山崎 一郎 グループ長）はブラジル eSocial システムセミナー開催	190 人			マクソウドプラザホテル
22	政策対話委員会の栗屋聡委員長（双日ブラジル）はブラジリアの日本国大使館を訪ね、AGIR 活動の進捗を報告、//政策対話委員会からは栗屋委員長、櫻井淳副委員長、二宮康史副委員長、柳本安紀委員、斉藤彰生インフラ WG グループ長、事務局からは、平田藤義事務局長、吉田章則調査員、JETRO から岩瀬恵一次長が出席した。山田大使との会合には、日本大使館から山中公使（外務省）、池田参事官（経済産業省）に同席いただき、経済班との会合には、伊藤参事官（財務省）、藤原書記官（総務省）、西川書記官（国土交通省）、光廣書記官（農林水産省）、稲吉書記官（外務省）、川橋書記官（金融庁）				日本国大使館
23	運輸サービス部会（細谷浩司部会長）主催のグアルーリョス空港（GRU）視察会/ GRU 空港	40 人			グアルーリョス空港（GRU）

	内にある様々なVIPルームを見学、約19万2千平方メートルある2014年に開港したターミナル3や現在のターミナル2（元ターミナル1と2）も視察。/四つ星のTRYP BY WYNDHAM ホテルも見学/レクチャールームでジョアン・ピタ GRU 空港エアラインビジネス担当				
24	土曜日				
25	日曜日				
26					
27					
28					
29					
30					

2017年12月 活 動 報 告 書

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
01	天皇誕生日祝賀会/日系団体・日系企業代表のほか、州政府関係者多数が訪れた。会議所から松永愛一郎会頭、平田藤義事務局長他多数が参加				在サンパウロ日本国総領事公邸
02	土曜日				
03	日曜日				

04	第1回ブラジル日本商工会議所と EMBRAPA との連携体制の構築に関する会合が開催/EMBRAPA からは、クレバー・ソアレスダイレクター、ビクトー・ウゴビジネス部代表、ワーレイ・ナシメント野菜部代表、ラウル・ロシニャイノベーション部コーディネーター他が参加し、日本側からは、大使館から山中公使、光廣書記官、JICA から宮本次長、田中所員、そして、ブラジル日本商工会議所からは、黒埼食品部会長（ブラジル味の素）をはじめ、プレゼン発表をする NEC、島津製作所、横河電機の代表者らが参加。				ブラジリアの EMBRAPA 本部
05	政策対話委員会（栗屋聡委員長）通関ワーキンググループ（石嶋勇グループ長）主催のブラジル Portal Único プログラムと OEA 制度についての説明会/開発商工サービス省・貿易部・貿易実務局の Leonardo Diniz Lahud マネージャーは「Portal Único プログラムの進捗と今後の計画」/財務省・国税局・サンパウロ通関局・OEA 担当の Elaine Cristina da Costa アナリストは、「OEA 制度-安全と準拠」/EY 貿易担当の Vanessa Baroni シニアマネージャーは「OEA に関する実務と課題」と題してそれぞれ講演				
06	日本メルコスール EPA に関する意見交換会/参加者は松永愛一郎会頭（伯国三菱商事）、企画戦略委員長の大久保敦 副会頭（JETRO サンパウロ）、政策対話委員長の栗屋聡 専任理事（双日ブラジル会社）、芦刈宏司 政策対話副委員長（ブラジル三井物産）、二宮康史 政策対話副委員長（JETRO サンパウロ）、櫻井淳 政策対話副委員長（ブラジル三菱商事）、佐久間太郎 政策対話副委員長（ブラジル双日）、岩瀬恵一氏（JETRO サンパウロ）、商工会議所から平田藤義事務局長、吉田章則調査員、近藤千里アシスタント、大角総丙編集担当				
07	日本貿易振興機構（JETRO）サンパウロ事務所（大久保敦所長）主催の第4回中南米知財セミナー開催/岡本正紀部長は、「中南米 IPG」/Gusmão e Labrunie 法律事務所の Laetitia d'Hanens 弁護士は、「技術移転契約書等のブラジル産業財産庁への登録実務」についてそれぞれ講演。	20 人			
08	メディカル分科会は ANVISA との政策対話会合開催/ANVISA からは、デニルソン GMP 監督マネージャー、マルコス・ゴメス GMP 担当アドバイザー、マルコス・アウレリオ貿易担当マネージャー、アンデルソン医療機器技術担当、そしてダニエラ国際協力コーディネーター/鈴木分科会長（テルモ）、土屋副分科会長（パラマウントベッド）、塩田副分科会長代理（フジフィルム）、高柳副分科会長代理（島津製作所）、岡谷委員（島津製作所）、板垣委員（パナメジカル） ジェトロサンパウロ：岩瀬次長、辻本ダイレクター、金子アシスタント JICA ブラジル事務所：宮本義弘次長 在ブラジル日本大使館：藤原書記官、 ブラジル日本商工会議所：平田事務局長、吉田調査員				ブラジリアの国家衛生監督庁（ANVISA）本部

09	土曜日 平田藤義事務局長は日本語学校生研修 30 周年記念式典に参加/平田藤義事務局長は、会議所がブラジル連邦共和国にて実施する国際協力活動の貢献に対する感謝状の記念プレートを受け取った。				JICA サンパウロ出張所
10	日曜日				
11	政策対話委員会(栗屋聡委員長) 課税ワーキンググループ(古本尋海グループ長) 主催の「サンパウロ州における ICMS 税務クレジット審査についての説明会」開催。/サンパウロ州財務局のイリネウ・フォルミゴニ税務担当官及びカルロス・エルナニ・平岡税務担当官は、「ICMS 税務クレジット-法令と方法-特別レジーム、代行納税制度、ドローバック」/ヴァルレイ・デ・ナッシメント税務担当官及び KPMG のマリア・イサベル・フェレイラ弁護士、EY のマルセロ・フラテッシ弁護士は「サンパウロ州税務クレジットについての議論とビジネス環境整備に向けた提言」/課税ワーキンググループの佐藤マリオ弁護士は、「ICMS 税クレジット累積残リリース-州税務局審査に向けてのノウハウ」についてそれぞれ講演。	100 人			マクソウドブラザホテル
12					
13					
14	平成 29 年度官民合同会議開催/外務本省からの報告 3. 在ブラジル大使館からの報告 4. レシフェ領事事務所からの報告 5. JICA、JBIC、JETROからの報告 6. 意見交換(2. ~ 5. について) 7. 商工会議所からの報告等 (1) アマゾナス日系商工会議所 (2) 南伯日本商工会議所 (3) パラナ日伯商工会議所 (4) リオデジャネイロ日本商工会議所 (5) ブラジル日本商工会議所からの AGIR 活動説明) (6) ビジネス環境整備、AGIR 活動、日本産農林水産物輸出・食品の輸出促進等に関する意見交換 8. 日本商工会議所からの挨拶 参加者リスト 在ブラジル大使館 山田 彰 大使 山中 修 公使 池田 英貴 参事官 光廣 政男 書記官 稲吉 紗依子 書記官 川橋 天地 書記官 中南米局 中前 隆博 局長 楠 彰 補佐 リオデジャネイロ総領事館 星野 芳隆 総領事 鹿児島 直人 領事 サンパウロ総領事館 野口 泰 総領事 蛭子 英稔 領事 藍原 健 副領事 中富 瑤介 副領事 マナウス総領事館				ジャパン・ハウス

	後藤 修二 総領事 クリチーバ総領事館 木村 元 総領事 レシフェ領事事務所 丸橋 次郎 所長 ポルトアレグレ領事事務所 近藤 猛 所長 ベレン領事事務所 濱田 圭司 所長 JICA 斉藤 顕生 所長（ブラジル） 佐藤 洋史 次長（サンパウロ） JBIC 櫛引 智雄 首席駐在員 JETRO 岡本 正紀 知的財産権部長 日本商工会議所（東京） 高田 哲大（あきひろ）国際部 副主査 ブラジル日本商工会議所（サンパウロ） 松永 愛一郎 会頭（三菱商事） 土屋 信司 副会頭（三井物産） 安田 篤 副会頭（損保ジャパン日本興亜） 井上 秀司 副会頭（三井住友海上） 讃井 慎一 専任理事（みずほ銀行） 藏掛 忠明 専任理事（丸紅） 小池 淳介 専任理事（三菱東京UFJ銀行） 鈴木 ワグネル 専任理事（ホス建設） 黒崎 正吉 食品部会長（味の素） 細谷 浩司 運輸サービス部会長（日本通運） 秋元 壮介 食品副部会長（キッコーマン） 見目 朋実（JFC） 鈴木 浩太（SB International Corporation） 平田 藤義 事務局長 日下野成次 総務補佐 大角 総丙 編集長 吉田 章則 調査員 アマゾナス（マナウス） 後藤 善之 副会頭（パナソニック） （来年1月会頭に就任予定） 南伯（ポルトアレグレ） 重年 生雄 会頭（フジクラ） 和田 好司 専務理事（さわやか商会） パラナ（クリチーバ） ヨシアキ・オオシロ 会頭 リオデジャネイロ 旭 俊哉 会頭（三井物産） パラ（ベレン）（欠席） 商工会議所忘年会/特別ゲストのロナルド・ノゲイラ労働相、ヒデカズ・タカヤマ連邦下院議員、駐ブラジル日本国の山田 彰 特命全権大使/アトラクションは、クラシックピアノの要素とブラジル音楽のリズムを融合させた独自の音楽で最近注目を集める日本人ピアニストの米田真希子さん/プレミアム大抽選会	230 人			チボリホテル
15					
16	土曜日				
17	日曜日				
18					
19	企業経営・地場企業推進委員会（鈴木ワグネル委員長）主催の ブラジル新移民法セミ	70 人			

	ナー/ミシェレ・アイダール Michele Haidar 弁護士（佐伯法律事務所）が講演/移民法施行に至るまでの経緯 移民法の主な変更点 移民法の進出企業へのインパクトと法的安定性の現状 進出企業幹部社員の就任における移民法の影響 社員のブラジル派遣において進出企業が考慮すべき点				
20	事務局忘年会				
21	年末一斉休暇				
22	年末一斉休暇				
23	土曜日				
24	日曜日				
25	年末一斉休暇				
26	年末一斉休暇				
27	年末一斉休暇				
28	年末一斉休暇				
29	年末一斉休暇				
30	土曜日				
31	日曜日				